臺灣日日新報

十月十九日
夕刊定價一部貳錢

發行所 臺北市榮町四丁目 [illegible]
東京支局 大阪支局 [illegible]

謝專使晴れの參內
兩陛下より握手を賜ふ
溥儀執政の親書を捧呈した上
皇恩の深さに感激しつつ退下

【東京十九日發電通】滿洲國承認答禮使謝介石氏は秋晴れの好日[illegible]參內を許した、日滿[illegible]の此の日特使は午前十時[illegible]宿舎より[illegible]紅白の槍旗を捧げた颯爽たる近衛騎兵一小隊に警護されつつ日滿國旗を打振る市民の歡呼の裡を二重橋より參內、[illegible]天皇陛下には[illegible]謁を賜はせられ謝專使は陛下に敬意を表し奉つた後率先滿洲國を承認遊ばされた御禮を言上、次で恭々しく溥儀執政の親書を陛下に捧呈した陛下には優渥なる御言葉と握手を賜ひ殊の外御滿悦の態に拜せられた、斯くて特使は[illegible]退下、更に桐の間で皇后陛下に拜謁、握手を忝うし皇恩の深さに感激しつつ退下、十一時半一旦帝國ホテルに歸還した

豐明殿で午餐を賜ふ
謝專使再び宮城に參內

【東京十九日發電通】一旦帝國ホテルに歸つた謝專使は午後[illegible]時半大橋次長を同伴して再び宮城に參內、千種の間に參進[illegible]兩陛下に再度拜謁仰付けられた後[illegible]豐明殿に於て午餐を賜はつた、この間宮中樂部の管絃樂が興を添へ、終つて牡丹間で答禮使を中心に御歡談あり、特使よりは執政からの御品を捧呈し、午後二時近く御殿に感激しつつ退下した

動一等を御下賜

【東京十九日發電通】畏き邊りでは承認答禮使として十八日入京した謝介石氏に對し動一等旭日大綬章を御下賜遊ばさる

ホテルに勅使を御差遣

【東京十九日發電通】天皇陛下には十九日參內した滿洲國答禮使の勞を謝せられ、午後一時十分侍從のため林式部長官を帝國ホテルに御差遣はされた

汪兆銘の病床で
閣議を開く
報告書に對する意見書決定して

【南京十八日發電通】十八日の行政院會議は特別外交委員會で決定したリットン報告書に對する支那側意見書に付き討議の結果、[illegible]一致これを通過した、その內容は[illegible]されるが、[illegible]ゼネバにある支那代表部に打電してその意見を求める[illegible]と共に、二十日行政院各部長一同で上海に行き汪兆銘の病床で正式閣議を開きその同意を求める[illegible]

兵器賣却條約に米が調印
列國の注意を惹く

【ゼネバ十八日發聯合】聯盟の兵器賣却取締委員會で本日米代表から一九二五年の兵器賣却[illegible]

總兵數は少くも
七八十萬の見込
支那共產黨の現勢 (三)

上海本社特派員 日高淸磨瑳

遊擊隊の外に軍事委員會に直屬し共產政權內部の政治保衞隊として活動してゐる軍隊がある。これに屬するものは第一獨立師から第九獨立師までの九ケ師と特務師一ケ師、政治保衞師一ケ師であるが、その師長名及び兵力、駐屯地は省略しやう。又政治保衞局なるものが設けられて軍人の政治干渉を防止してゐるが、これが局長には財政委員長たる鄧子恢が任命せられてゐる

以上は所謂共產黨軍の戰鬪員のみであつて決して全部ではない。共產軍中にはこの外に前記した遊擊隊の外に赤衞隊、少年先鋒隊がある

△赤衞隊 赤衞隊は二十五歲から四十五歲までの農民で組織せられ縣、鄕、村にそれぞれ設けられてゐる――赤衞隊には中農貧農のみ參加すべき規定を持ち、富農には參加を許さない。そして赤衞隊は天下無事の際は平常通り耕作に從事し小銃、彈丸などを有せず、ただ大刀や槍を持つてゐるに過ぎない、夜間の步哨守備の任に當る

△少年先鋒隊 年十五歲から廿四歲までの農民青少年で組織されるのが、この少年先鋒隊で討伐軍との肉彈戰の場合は多くこの少年先鋒隊が活躍する。が不必要の場合は出來るだけこれを使用せぬこととしてゐる

この外に四十歲以上の婦女で「洗衣隊」が設けられ、有名な「婦女慰勞隊」「看護隊」などがあり、婦人スパイを使用すること、多いことも周知の通りである以上共產軍の總兵數は正確には不明であるが現在では遊擊隊、赤衞隊、少年先鋒隊通計七、八十萬に達するのではあるまいか、尤も武器を持つものはその五十パーセントはない位であらう

三、共產軍の活躍狀況

共產軍の活躍狀況は詳細に記述することになれば膨大なものになるが、茲では上海で發行されてゐる「時事月報」に掲載せられた際報界の調査に據らう、本年一月以後の共產軍の活動振りである、各省別として左の如し

◇湖北省 湖北省の共產軍は賀龍軍が安徽省より湖北に侵入してから俄然形勢重大化し、廣濟は六月中旬に陷落した、共產軍の意圖するところは武漢襲撃にあり、中央軍は直ちに上官雲相軍を武穴に集中し進撃の姿勢を示したので、共產軍は廣濟を撤退した、廣濟撤退の際一部共產軍は不渡線南段武穴[illegible]の陸家山附近に進出して鐵道線路を破壞し停車場に放火してこれを燒き拂つた、これは河南湖北間の交通を中斷し討伐軍の連絡を杜絶する爲めであるが後湖北河南兩省よりの政府軍の挾合討伐で省境山嶽地帶に退却した

◇河南省 河南省の赤禍は省の南部地方が特に甚しく、平漢線南段地域にある共產軍は河南湖北兩省境の雞公山を襲ひ外人避暑客を拉致(電通で日本にも報道された事件である)した、河南部の黃縣、光縣等は何れも共產軍に包圍されたが、現に討伐軍はこれと交戰中である

◇安徽省 安徽省の共產軍は[illegible]占領後勢力を擴大し來り、中央討伐軍は第四師が正陽に、第九師が蚌埠に集中し、兩方面から討伐したため共產軍は河南南部に退却した、現に霍邱には討伐軍中の精鋭たる徐庭瑤の第四師がゐる

◇江西省 江西省は共產黨軍の搖籃とも稱すべきで、上記せる如く瑞金にはソヴエート中央政府が置かれてゐる、省の東南部には朱德軍があり、東北部では方志敏軍がある、方志敏軍は最近上饒を猛攻してこれを蔡ひ、一時は一窓に陷せしめ(要害によつて)た後退却した、新江、江西の討伐軍は方軍を目下包圍攻擊中である、朱德の一部隊も江西廣東兩軍に挾擊せられ贛州攻擊の企圖はくじかれた形にある

◇福建省 福州退出後十九路軍の福建移駐を聞き共產軍は猛然と攻擊的態度に出で逐次包圍したが、現に十九路軍と交戰中である、又江西浙江省境の方志敏軍は福建の浦城に侵入し一方福建新江省境の共產軍の一部は浦城を占領した

◇廣東省 廣東省では余漢謀軍が討伐を中止して江西から廣東に引揚げてから共產軍が俄然廣東侵入の氣勢を示し、省境方面が危險に瀕した、仁化城は討伐軍が奪回したが今度は樂昌、江華等が危險に瀕してゐる、共產軍は江西と廣東の連絡を切斷せんとし南雄を猛攻中であつたが一時は廣東軍南雄を放棄せりとまで言はれたが最近では南雄は廣東軍の手にある模樣だ

◇湖南省 彭德懷軍が茶陵を、孔荷寵軍が平江を襲擊したが、これは何れも何鍵軍に擊退された、現に彭軍は江西省の寧岡にあり孔軍と聯合してゐる、以上の內湖南省の損害が最も輕微で何鍵は彼の目の黑い間は湖南省民を共產軍の蹂躙に委ねせしむるが如きことはないと言つてゐるさうであるが、これは湖南省の保安維持がウマク行はれてゐる爲めであると言はれてゐる

松岡代表送別宴

齋藤首相は來る二十一日出發ゼネバに向ふ國際聯盟總會帝國代表松岡洋右氏並に隨員小林、吉田、[illegible]の諸氏を招き十四日正午首相官邸に於て送別午餐會を催し、首相初め各閣僚其の他關係者貝[illegible]の下に盛大に催された(寫眞左から前列荒木陸相、松岡代表、齋藤首相、山本內相、後列左から岡田海相、內田外相、小山法相、永井拓相の諸氏)

英露通商條約
破棄を聲明
英自治領相が下院に於て

【ロンドン十八日發聯合】本日開催された英下院で自治領相トーマス氏はオッタワ協定成立の結果これを成立せざるに至つた英露通商條約を破棄する旨を聲明した

取締條約を近々米國が批准する旨發表したのが列國の注目を集めた右條約は米國を初め四十五ケ國の調印を得てゐるがその批准を了したものは數ケ國に過ぎず、米、日等の大國は何れも批准を了しないのでまだ效力を發せず、殆ど死文と見られてゐたもので、米國が愈々批准するとなれば他の列強の批准も誘致し本條約の效力發生の曙光が認められる譯である

銘酒 白鹿

日滿經濟統制は
閣議で審議する
委員會等には任せないで
資源局の下調査を基礎に

【東京十九日發電通】日滿の經濟統制計畫に關しては過般の閣議で各省次官會議で一切の調査を資源局に一任することに決定せる一方政府に於ても關係各大臣の間に於て各種の協議を重ねる所あつた結果、該問題は愈々重要するに日滿の經濟聯絡上極めて重要なる問題なるを以て委員會等に附託審議すべき性質のものでなく、悉く閣議に於て慎重審議の上決定するが至當なりとの結論に到達し、先づ米、石炭、硫安、鐵、銀、木材、小麥の各品目に付き資源局の下調査案を基礎となし下調査終了と共にその都度閣議に於て之が取扱に[illegible]關係閣僚たる農林、商工、大藏、拓務及び陸軍の各閣僚が[illegible]の間に於て一切の實行方法を決定する事に決定した

拓務審議會を
設けて調査
日滿經濟統制調査のため
拓務省豫算を計上

【東京十九日發電通】日滿經濟統制に關し政府の方針が前項の如くなつた結果、拓務省は日滿經濟統一の研究を國策審議決定することに決し拓務と重大の關係を有する各植民地との經濟關係を密にし、この際官制に依る拓務審議會を設置して各般の調査を遂行することに決定し、その經費三萬圓を計上し大藏省に要求することになつた、審議會は會長には拓務大臣自ら當り、委員には關係各省次官、一般民間の拓植關係者其他學者等も網羅の意向である。會員の數は四十名內外に限定の方針である

顧問官に內定
貴族院の山之內一次氏

【東京十九日發電通】樞密顧問官缺員二名中一名を補充すべく政府樞府間に交渉中の所今回貴族院議員山之內一次氏を任命することに內定近く發令の筈

三大製紙合併の
假調印終る
十八日工業倶樂部で

【東京十九日發電通】本邦製紙三大會社王子、富士、樺太の合併假調印は十八日午後丸の內工業倶樂部で藤原銀次郎(王子)、大川平三郎(樺太工業)氏並に斡旋者たる池田成彬、結城豐太郎氏等出席の上終了した、合併契約書は各社別に十一月十九日迄に調印し、合併後の新王子製紙としての假清算は明年四月十八日、新株交付は五月二十日と決定、斯くて全國生產高の九割を占むる一大製紙會社の成立を見る譯である

支那聯盟代表
決定發表
顏と顧の兩名

【南京十八日發電通】十八日の國民政府行政院會議で左の如く決定發表された

任國際聯盟總會支那代表 顏惠慶
任國際聯盟總會支那代表 顧維鈞
任同理事會支那代表 [illegible]

中川總督
首相を訪問
統治狀況報告

【東京十九日發電通】中川臺灣總督は十九日午前十時齋藤首相を官邸に訪ひ上京の挨拶を兼ね臺灣統治狀況に付き報告し十一時半辭去した

その日その日

○皇后陛下御懇篤のお茶、正しく畏であり、今度こそ皇子殿下あれますやう神かけて祈りあぐ

○日滿兩國の親交振りを如實に見せてゐる謝特使との交驩、はたで見てゐたら妬けるだらう

○日本に對する武力行使には絕對反對とは英國側の意向、ソレは共の筈で其の以外には出られぬ筈

○有色人種十何億の大衆が、今何を思ひ、何を考へてゐるかを知るなら滅多な事はできない筈

○上海の新聞雜は宜い事を言つてる、日滿、日米戰爭等をボカンと待つてる支那バカ――

○こんな犧牲こそ支那を滅すものだと。この悟りが全國民に徹底するなら民國も救はれやう

○リットン報告が支那に統一政府なしと止めを刺した直後、果然同國の內亂勃發、後石に彼の隣い支那の醜體は迷れも恥かしくなつた

○蘇張學の敗軍の手から那人を救ひ出すには智と策とで行くに限るお手腕を拜見しませう

人事

▲淸水參謀長 十八日夜行で南下
▲水戶警備部參謀長 十八日夜行にて再公へ赴任
▲田中航空參謀 十八日夜行にて昇東へ
▲[illegible]松氏 [illegible]の商工業を視察の目的で十九日發臺南、約二ケ月の豫定

無絃琴

この頃の東京から戻つて來た或るお役人曰く「この頃の東京の一二流カフエは經濟的に合理化してお客の費めを戀ひチップは凡て消費額の十パーセントとし其の金も決してお客から直接女給に渡させぬといふ制度に改められてる▲だから女給は客の飲食消費額の一割しかサービス料は貰へない譯で一面甚だ不利益のやうだがソレだけ客はカフエへ入り易くなり自然漿昌するといふわけ▲それならサービスも一割だけしてれば好いかといふに必ずしもさうではなく客に關係がないと自然女給稼業の收入も減る事になる仕組みになつてゐる。といふのは女給の席番は順位になつてゐるので番に當つた者が愛待つのだからこの席番の女給の外に

火の鳥

(219)

加能作次郎作
石塚連畫

誘惑 (六)

「あゝ、二寸用事が出來たので、ね。」と貢夫は然あらぬ體に答へた。

「誠に濟みません。」志保子は貢夫の心持を察して、さう調子を合せた。

「さうでございますか。今、何か御飯のお菜をと思つてましたら……」と糸は明かに不滿の色を顏はしながら。

「お急ぎなんでございますか。」

「あゝ、實はお前の踊るのを待つてたんだ。」

「さうでございましたか、それは誠に申譯ありませんでした。」

お糸はさう忌々しげに呟きながら、踊らくわつと土間を見つめて居たが、それでもまだ腹が癒え足りなかつたか、一緒に買つて來た力任せに叩きつけ、[illegible]その上に「いい!」とばかりにそれらの總蒼の破片を、悉く下駄の踵にかけて踏み潰してしまつた。ただ小さな柿子の實だけは、一二度烈しくもんどり打つて三和土の上を毬のやうに跳ね返つたが、ふとした拍子に入口の敷居を越えて、外へ轉がり出た爲に、踏み潰される難だけは免れた。

それからお糸は奧の間へ行つた後片附にかかつたが、

「あゝ臭い、あゝ臭い! 何處の馬の骨か知らないけれど、腕白も爺なくづけ〳〵呼び出しに來たりして、小癪に障る!」

と志保子の敷いて居た座蒲團をばた〳〵手で叩きながら、その鷄り寄に對して、顏惡を浴びせかけるかと思ふと、今度はまた、

「口惜しいつたら、まあ! まだ奧さまの四十九日が濟んだか濟まないかに、もうあんな女なんか引ずり込んで、本當にあきれつちまふ」などと、まるで亡夫人に忠義立てでもするやうに、貢夫に對して自分の不平を洩らすのであつた。

ら、さう眼味らしく云つて立上つた。

「お洋服でございますか。」

「さうだな、どちらにしやうかな。」

「……」

いつもなら「あゝなさいませ」「から遊ばせ」と、賢しく阿ねるやうな調子で、自分から意見を述べるお糸であつたが、この時ばかりは、如何にも不機嫌さうに、つんと頰をふくらして默つてゐた。

そして貢夫が、稍暫らくどちらとも極めずに居ると、

「どちらになさいます?」と、さも如何しさうに、いら〳〵した調子で促すのであつた。

「矢張り洋服にしやうかな、着換へるのが面倒だけれど、天氣が惡いから。」

「はい。」

そしてお糸は、次の室に洋服を取出したが、貢夫がそれを着換へる間、ぷり〳〵して物も言はなかつた。

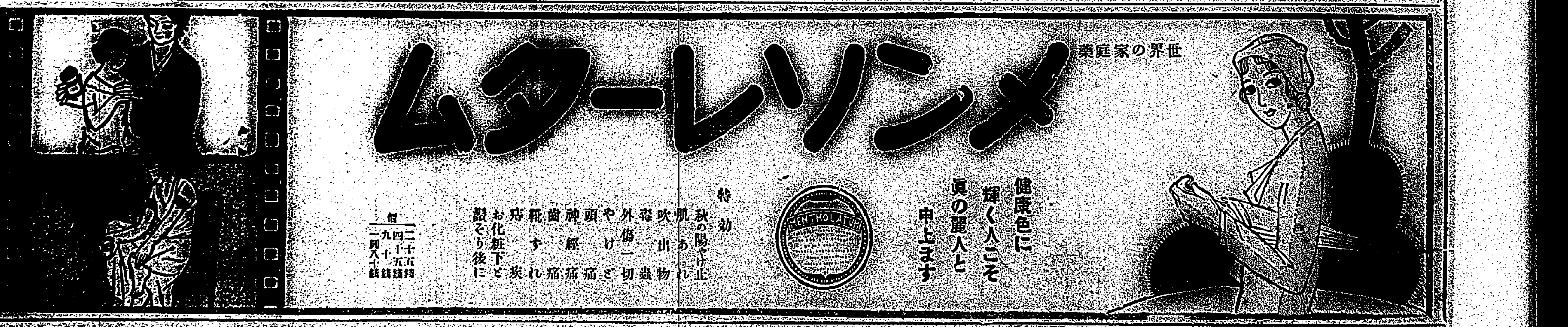
やがて貢夫は、兎も角もと志保子を誘つて家を出たが、それを玄關で見送つたお糸は、二人の姿が門の外に消えると同時に、ぱた〳〵と足音も荒く荒々しく臺所へ驅け込んだ。そして、いきなり、夕飯のお菜にと、今買つて來たばかりの數本の鰺を手に取るや否や、

「ええ!」

と齒噛みをしながら、力一ぱいに土間の三和土へ叩きつけた。

可哀さうに、鯵は、お糸の嫉妬の犧牲となつて、無慘にも頭をくだかれ、或は腸を破られ、[illegible]無慘に頭を打碎かれて、見るも無慘な姿でそこに散亂した。

「本當に! 人が默つてゐれば好きな燒き粉にして上げやうと思つたら――」



量的一律減には わが海軍絶對に反對
五ヶ國私的商議に關して 松平大使から請訓

【ジュネーヴ十九日發電通】[illegible] 五ヶ國海軍縮問題に關し十八日午前 [illegible] 海軍側では [illegible] 態度を決定した [illegible] 即ち近く日、英、米、佛、伊五ヶ國海軍縮私的會商が開かれる場合は帝國も當然參加することになるが、歐米聯合の [illegible] フーバー案の方式が五國間の商議の基礎として採用さるるにおいては帝國海軍は絶對反對の態度を [illegible]

重要報告 [illegible]

量的一律 縮減の方向に [illegible] 帝國海軍の態度は [illegible]

世界公論 の前に明かにし [illegible] 市内各所の視察をなす筈

哀れな人々を 劬はりながら巡視
仁濟院、愛々寮を初めとして 十九日の高木宮内書記官

[illegible] 高木宮内書記官一行は [illegible] 十九日午前九時旅館の [illegible] 市役所の佐山課長 [illegible] 仁濟院に到り [illegible]

詳細の説明をなし [illegible]

質問し これに對し [illegible]

珍らし さらに一巡し、[illegible] 芳名簿に「宮内書記官高木三郎」と署名し、それより臺北刑務所、西門市場、十五番、臺灣共勵會、大和町公設質舗を視察し [illegible] 成徳學院等 [illegible]

鈴木海軍武官 謝辭を述ぶ
十九日本社を訪ね 慰問袋寄贈に付き

海軍側に對する慰問袋寄贈の件につき鈴木海軍武官は十九日午前本社に河村社長を訪問謝辭を述べ [illegible]

海上で喧嘩 瑞穂丸の石炭夫 三名取調べらる

【基隆電話】去る十五日基隆入港の瑞穂丸が航海中、船員同志の喧嘩事件があつたとの投書が基隆署に舞込んで來たので調査した結果 [illegible]

御下賜金の 傳達式 廿一日樺小で

臺北市役所では二十一日午前十時から樺山小學校講堂に於て [illegible] 御下賜の風水害罹災救恤金傳達式を舉行することとなつたが [illegible]

草山で招待會

中瀬臺北州知事、西澤市尹は日下本島社會事業視察のため來臺中の高木宮内書記官一行を招き草山に於て二十日正午から招待會を開催することとなつた

阿部軍司令官 湖口に出張

阿部軍司令官は十九日午前 [illegible]

奥田警務部長ら 北署を定期巡閲

臺北州奥田警務部長は十九日午前七時半より [illegible] 北署の定期巡閲をなした [illegible]

映畫は振はず 劇は大當り
十月の東都興行界

【東京十九日發】[illegible]

連合秋季大演習 新竹平野で舉行
十一月九日から十三日まで

【新竹電話】臺北第一、臺南第二 [illegible] 十一月九日から十三日まで新竹平野に於て舉行さるべく [illegible]

明治橋の竣功式 廿六日盛大に舉行

臺北市明治橋の竣功式は [illegible] 廿六日午前十一時から盛大な竣功式を舉行することに決定した

ガンヂー氏の 卒倒否認さる

【ボンベイ十八日發電通】デリー・ヘラルド紙所載の聖雄ガンヂー氏卒倒に付きエラヴダ監獄の役人は「左様な事實なくガンヂー氏は監獄内で日課の紡績を繼續して居る」と語つた

賭場に踏込む

【基隆電話】基隆市 [illegible]

基隆の招魂祭

【基隆電話】[illegible]

福建共匪軍の本據 龍巖の攻撃開始
第十九路軍が出動して 占領説も傳へらる

【廈門十九日發聯合】第十九路軍に於ては福建共匪軍の本據たる龍巖の攻撃を開始し、[illegible] 漳州より龍巖に向け出發した [illegible] 占領したとも傳へられてゐる

順慶殆んど包圍
劉湘軍側の形勢優勢

【重慶十九日發聯合】劉湘の部下 [illegible] の二部隊は十八日朝より順慶攻撃を開始し [illegible] 劉湘軍側の形勢頗る優勢なる [illegible]

對岸將兵慰問に 會田記者馬公へ
多數の見送りを受けて 十八日の夜行にて南下

對岸の第一線に戰ふ皇軍將兵を慰問すべく馬公へ向ふ會田本社記者は既定の如く十八日午後十時半臺北驛發の汽車にて出發したが、驛頭には [illegible] の見送りを受けて勇ましく出發した(寫眞は左より會田本社記者、水戸參謀長、鈴木海軍武官その他は見送りの本社員)

又も僞造紙幣 臺南で發見

【臺南電話】三十四銀行臺南支店で又復僞造紙幣が發見された [illegible]

愛市會講演會 で一名檢束

[illegible]

逮捕に行つて 巡査部長が負傷
老鰻と大格鬪をなし

【基隆電話】[illegible]

小學生四名に 散彈が命中
坎子脚驛長の過失

【新竹電話】[illegible]

學生の處分 著しく輕減する
今年度の初めから

【東京十九日發】[illegible]

白耳義内閣が 總辭職

【ブラッセル十八日發聯合】ベルギーのランキン協力内閣は [illegible] 總辭職を決行した [illegible]

ヘンダーソン氏 勞働黨首辭任

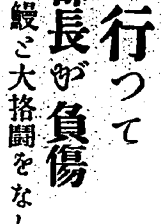
【ロンドン十八日發電通】英勞働黨首ヘンダーソン氏は十八日黨首を辭任した [illegible]

名畫を寄贈
日米親善の意を籠めて 米國から美校へ

【東京十九日本社特電】[illegible]

寄贈 [illegible]

愛用 [illegible]



天氣概況（十九日）

[illegible]

商況（十九日）

米況

正米市況 [illegible]

株式

大阪期米　東京期米　神戸期米　大阪短期

[illegible]

割烹 梅の家 電話八七八番
割烹 日本亭 電話二七〇番
割烹 梅本 電話五五三番
割烹 新喜樂 電話一四二七番
割烹 梅屋敷 電話九七六番
御料理 竹の家 電話一一三八番

天ぷら 寄せ鍋 御料理 中惣
新起樓
金儲大將 菓子ツカ機
池原造作所
毛髪ベトロールバン
頭痛にパラフイム
新發見

風邪にレキヂトット治る 感冒バンコー

月經 最新強力流經劑 サンガー
月やく滞り 御心配の御婦人方よ!

日英米佛特許
淋疾に ウラルコール
慢性には特に是の療法を賞揚せらる
淋疾特に慢性は其病源たる淋菌が尿道の粘膜に深く喰入つて、その上に薄い膜を被つてゐるものである。であるから普通の注入劑や洗滌若しくは内服では粘膜の表面のみ作用して深部の病巣まで浸み込まないから幾度やつても、なほらぬもので一時なほつた様でも再發する事が多い。
淋病は膿が止まつた丈では全快といへない。其の溶損には時候のかはりめとか、酒でものむか運動が過ぎるかすると又膿が出て來る。であるから根本的に癒さうとするには其の喰入つた淋菌に長時間はたらく藥をえらばねばならない。ウラルコールは其の喰入つた淋菌に長時間浸み込み殺菌作用を逞しくするから其の效果は充分に期待が出來る。然も隨時隨所に使用が出來るので患者の旅行中にも携帶せしむるに便利である。又豫防には事後數時間經過後と雖も中管乃至短管の使用により發病を防ぐ事が出來ると言はれてゐる。
各地一流藥店にあり。
實驗報告集進呈す
長管 一〇本 二・〇〇
中管 一〇本 一・八〇
短管 二〇本 一・五〇
發賣元 東京市日本橋區本町 友田合資會社

續殘月譜（21）

志乃田廸司作　清水三重三畫

夜の客（七）

「はははは、何も遠慮ひとしなさるのぢや、さあ座布團を澤山持つて來い」

嘉衛は、顎で云つた。

「へい、黒野の奴等ぢやねえですかい？」

「黒野？」

嘉衛は、手下の方を見て、

「別に、來やしないよ」

「さうだらう、來る位の度胸があるかい。大傑は、詫んで來ないかららなあ」

「へい、御用でも——」

手下は、へこへこと御辭儀をすると、奥の方へ、すつ飛んで行つてしまつた。

嘉衛さんも、あつ氣に取られて、

「嘉衛さ、溜居組の人達のやうぢやな」

「さうか」

と安心して、座布團を取りに入つた。

「そりや一體、どう云ふ原因なのですか？」

嘉衛が不服さうに訊ねた。

「功名を横取りしやがるんで——」

「又、」一人が云つた。

「默つてろ」

と、友八組頭は制して。

「どう云ふものか、大阪の打ち方が拙いのです。纏のあげ方が拙いのです、みんな、わつちの不行屆きですが——」

「違ひますよ、向ふが無茶です」

「默つてろ」と友八は又、制して。

「どうです、一つ富波會組の名譽の爲めに一肌ぬいで下さいませんか」

と嘉衛の氣色を窺つた。

「それは困る、今、私の所には病人があつて、なあ」

「それぢや、何か、小熊組を贔屓するやうな智慧を殘して下さい」

「うむ」

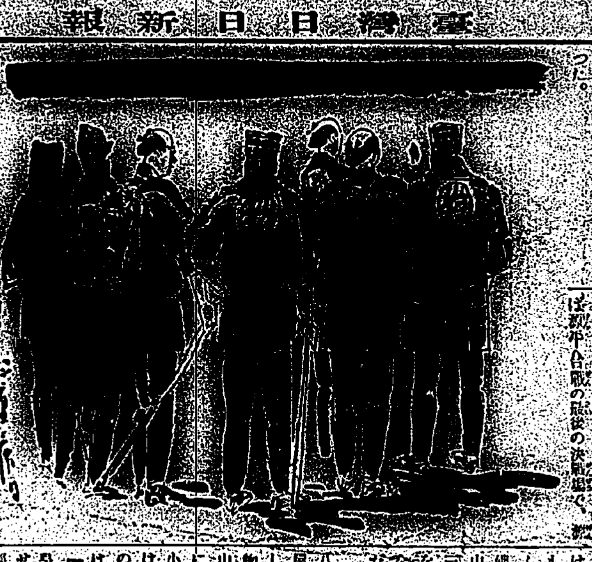
「名案はありませんか知ら？」

友八組頭が身體をのり出した。

「ある！」

「えつ、ありますか？」

溜居組一同、みんな嘉衛の顔を讀めた。



「さあ、みんな、入つて下さい」

「へえ、ありがたう存じます」

「まつぴら、御免なさつて——」

と、ぞろぞろ入つて來た。

最後に、大役を背つた人々。

嘉衛さ、が奥から運んだ座布團を、上りかまちに、ずらりと並べた。

「何です、一體、私なんかに賴みつて云ふのは？」

「そいつが無くてなりませんや」

顔も出したのであらう、祇園の友八、充血した眼で云ふのである。

「御承知でせう、小熊組と富波會組との喧嘩を——」

「ああ、それは噂には聞きましたが」

「そいつが大變なんです」

「前の雨でも降らせたのですか？」

「いいえ、これから、やらうてんです」

一人が、突出て云つた。

「いえ」

と、嚴しく友八組頭は制して

「それが、やりたくないから、お願ひに上つたんです」

「ほう」

「どうしても小熊組には、敵はんのです」

「敵はん？」

「さうです、どんなに、富波會組が、騒いでも名は、すつかり小熊組に上げられてしまひます」

內地遍路記（十二）
屋島の懷古

小野西洲

その昔離れ島であつた屋島も今は地つゞきとなり、琴電の終點から登り十八丁ケーブルカーで山上に登ることができる。屋島と言へば源平合戰の最後の決戰場で、殊に平氏亡の運命を決した所であることは三歳の兒童でも知つてゐる。島の頂上は平坦で老松繁生しその間には寺院の伽藍があつて約一丁あまりの水田がある。頂上は一週する立派な道があるが遊客の爲め內五組の四つ手駕籠の用意があるだけでこの以外には乘物はない、北嶺の展望台にある遊鶴亭まで往けば約二粁あるが南嶺の談古嶺までならば約一粁である

◇

筆者は生れてから未だ日本の山駕籠に乘つたことがないので好奇心にかられ二圓を投じて之に乘つて一週した。四つ手の竹は紅白の布で巻き飾られ其その物々しき姿は全く古風そのままの形ち姿である。これにお臨のやうな美人が揺られて往くのはふさはしいが、けた悲劇を乘せて往くのはいかにも詩的である。揺られゆく途中で向ふからやつて來た紳士名ばかりの伊豫國水兵に出遇つた。彼等はこの山頂が珍しかつたとみえその內三人の將校は筆者の乘つてゐる駕をよび止め、前から横からカメラをさし向けられた。これでも私の影だけは世界を一週する譯だ呵々

◇

八十四番の靈所屋島寺にも詣で寺屋がせき立てるので寺內に寶物として保存されてゐる源平時代の遺物を觀られなかつたのは殘念だつた。山門を出て陶池む蒼松平野を眼下にし鏡のやうな海面に浮べる大小の島々を眺めつつゆくうちに談古嶺についた。此處には一組の茶店あり茶をすゝむる美しい娘は眼下の瀬一帶を指して曰く「あの松に覆はれし家は昔安德天皇が一年中おかくれになつてゐられし所です。あの岡田は昔義經の八艘飛せし所。あの沖に那須の與一が扇の的を射りし所、彼處は平家の船隱所、惡臣はあの山を越えて何處を辿つてどうして致めた。宗盛はどうして斯うした」と滔々なすその說明も面白し。

◇

遊客この談古嶺に登り、平家沒落の史實を物語る數々の古跡を眼前に見ては何人と雖も懷古の情に堪へ得ぬものがあらう。平家の大將宗盛以下の將兵は、義經の一擧の夢と消えさせては一の谷からこの屋島の戰となり遂に一門は悉く壇の浦の水藻と消え果てしは寔に盛者必衰の理の當然ではあるが、昔おいたはしく恐懼に堪へぬは安德天皇の都を落ちさせ給ひてより御受難なり隱れ給ふ御入水を想ひ得ざりしとは日本に神がかりしやと言ひたくなる。即ち古を偲ぶのあまり皆卿の「遂に狂風怒濤」の句を想ひ起さずにはゐられぬ（屋島にて）

新興キネマ太秦撮影所作
悲しみの天使（全拾參卷）

（婦人俱樂部連載）

原作……中村武羅夫

脚色……上島量

撮影……二宮飛曉

—キャスト—

吉川敬三郎……津村博
鈴木洋作……三浦洋々
岡部榮助……國城大輔
俊子弟勸……松尾文人
黒田貞吉……松本泰輔
志賀俊子……森靜子
山本夏江……水原玲子
津村夫人……歌川八重子
俊子の母……岡田將代
木下喜美子……林喜美枝
夏枝の娘千代子……小東澄子
音樂家珠枝……久米明子
看護婦……日夏高枝
半目の熊……岬洋兒
いか銀の寅……小坂信夫
布袋の八公……上代房吉
ノッポの半公……平八郎
チビの源太……森天一
鎌鬼の六……明智三郎
ノロマの鶴……高橋別多衛門

【梗概】利根川べりの小さな町の女學校の音樂教師—吉川敬三郎—或日彼は貧しい荒物屋のお上さんを救つた緣でその志賀一家と親しくなつた、そして娘俊子の唱歌の天分を認めた吉川は東京の有名な津村夫人に彼女を聲樂家として育つるべく託した

×

愈々俊子の試金石とも云ふべき獨唱發表會が催された—樂壇の大御所黒田貞吉を伴奏とする山本夏江に反し俊子の伴奏は無名の鈴木であつた、併し聖帆は實力を證明した、此の會場に吉川は秘かに上京し此の發表會に來てゐた

×

そして俊子の成功を喜び彼女のアパートを訪れた時そこには彼女と鈴木との囁きに希望の光は打ちくだかれた——今は病床の鈴木を救ける爲に彼女は頼らんとした黒田に弄ばれた、一方吉川は心の痛手を癒やすべく新生活を求めたそれは貧しい人達を音樂に依つて慰めるのであつた、そして計らずも落魄した山本夏江が黒田との間になした子供と共にうもれてゐるのを知つた、然し至純なる愛の幾許が正しく總てを解決した——それは吉川に依つて夏江と子供は黒田の許に——

×

貴い俊子の犧牲に依つて病癒えた鈴木が伊太利へ音樂修業に發る日悲しみの天使として俊子を愛する吉川は俊子と共に感謝の涙に船出を見送るのであつた（十九日より芳乃館公開）

歌舞伎漫談
史實と伊達騷動（上）

◇……高木文……◇

芝居を觀たり或は講談本を讀んで、それが實際にあつたことだとは誰も考へないが、それではどんな出來事によつてあんな芝居になり、或は講談につづられたりしたのであらうかと云ふ詮索には誰でも大きい興味を感じることと思ふ。

ここに、芝居でよく知られてゐる「仙臺の伊達騷動」につきその史實を中心として漫談的に述べて見たいと思ふ。日本三景の一つ松島の絶景を自分の庭園に取り入れたり、大きな船を造つて遠く羅馬まで使を出したりして大きな志を持つてゐた片目の伊達政宗も寛永十三年に死んだが、其子の忠宗が二代目を次ぎ仙臺の太守となつた。此忠宗には京都の櫛笥と云ふ公卿の娘で貝姫と云ふ方を第二夫人として居たが侫者のざん言により忠宗は手討ちにしてしまつた。それから又江戸の町人で永野助左衛門と云ふ者が不德をはたらいたので、親子三人を船に乘せて品川沖へ出てつるし斬にしたことがある。

◇

芝居でする、三叉で高尾のつるし斬りはこんなことが材料となつて趣向されたのである。それから忠宗の子に巳之助と云ふのがある。これは寛永十七年に仙臺で生れた母は忠宗の手討ちになつた前に言つた第二夫人である。巳之助十五歳の時、將軍家綱に拜謁し、綱の一字をもらつて綱宗と名乘ることになつた。此綱宗は若年より大酒で父忠宗もしばしば意見をし其將來を心配しつつ明暦四年七月十二日に仙臺で死んだのである。そこで所謂奥州五十四郡の三代を大酒呑みの綱宗が相續した。それが仙臺騷動の主人公で、芝居で花水橋（雁に「栗」の布れをのせて出て來る足利頼兼）と云ふのがそれである、綱宗の畫像を見ると、羽織袴に矢張り雁に「栗」の布をのせてゐる圖が描かれてある。これは矢張りそんな所から表現されてゐる。

◇

綱宗は二十歳で兩親とわかれ、その年の三月愛人初子は二十歳で男子を生んだ。それは龜千代と云つた、これが芝居でお馴染の鶴喜代君で又龜若丸と云ふ者である。綱宗が相續した萬治元年の翌年は二年もつづいて江戸に大火があつた、所謂明暦の大火と稱へて江戸の市中は大半以上もやけてしまつた。江戸は上下をあげて復興に努力してゐたが、綱宗は幕府から翌三年二月にお茶の水の堀割工事を命ぜられた。此時には綱宗は仙臺に居たが早速江戸に來て其工事を自ら監督することになつた。所が此工事が頗る難工事ではかばかしく行かない、綱宗は工事を家來に任せて惡い家來にとりまかれて吉原の揚屋平右衛門方に通ひ、京町の山本屋の遊女で薫と云ふのに迷つて遊んでゐた。綱宗が吉原へ通ふ時は紫縮緬で顏々と派手な姿をして市中を騒がしたと云ふ。

◇

芝居では高尾の許に通つたやうにしてあるが、高尾は此年に既に死んで居りません、綱宗が通つて愛されたのは薫と云ふ遊女であつた。工事は六月になつても未だ完成せず、家來共の心配は一方ならず家來は勿論、水戸黄門までが諫めたが不相きき入れない、いつしか將軍の耳に入り、病氣と稱して職を辭する樣に諷つたが許されず、平常の行跡が惡いと云ふので押し込め隱居を命ぜられてしまつた。領地の相續はかされて沙汰すると云ふ命であつた、七月二十六日には品川南大井村に隱居せねばならぬことになつた、年わづかに二十一歳であつた。家來からは表向きはまだ屆けてないが、一說になる男子龜千代と云ふ世子があると云ふことを申し出てあつたので藩の領地を相續することを許された。八月二十五日に龜千代は僅かに二つで奥州五十四郡の殿樣となつた。そして田村隱岐守宗良と伊達兵部宗勝の二人を後見として附けられたのである。

◇

綱宗のお供をして吉原へ行つた惡臣に擬人九郎左衛門、坂本八郎左衛門と云ふ者があつたが、大力無雙でしかも劍道の達人であつたが、決死の有志數人で用見重右衛門が嚴長となつて其屋敷で二隊に分れて斬つてしまつた。十一月には家臣共から綱宗が再勘主となるやうに將軍に諷つたが遂に許されなかつた。翌年の三月やつと一年がかりでお茶の水の難工事が漸く出來上つたので將軍が上覽を致した。翌年寛文二年の九月に大事の龜千代は四つで疱瘡に罹つたが、それも無事に濟み、まして、六つの時初めて將軍に謁した。それから芝居で有名なる鶴喜代を毒害せんとしたのは、寛文六年十一月二十七日の出來事、龜千代が八つの時であつた。

◇

從傍のお膳の毒味をするのは鬼番衆と云ふ者が致すことになつてゐる、此日も例によつてお毒味をしますと、第一、第二、第三と三人共に吐血して死んで殘りを犬にも喰はしたがこれも斃れた、これを吟味すると毒をもつたことが知れ、醫者の河野道圓（これが芝居では大場道益である）親子三人の首を刎ね、又御膳番の者八人女中十人も斬られてしまつた。龜千代の守役に鳥羽と云ふ女中が付いて居た、此女は十七の年から忠宗の奥方に仕へてゐたが、奥方がなくなり、龜千代が生れたので其御守役をいたしてゐたが此事件でお預けとなつてお國の仙臺へ送られた、本名は柳田梁と云ふ名で六十五で仙臺で死んだ（續く）

名家敗退將棋（五九）

（平野氏一回勝二人目）

△六段　小泉兼吉
平手先 ▲六段　平野信助

△小泉氏（持駒）歩歩歩

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	△香					△王		△桂	△香
二					△金		△金	△銀	
三	△歩		△桂	△歩		△歩	△角	△歩	△歩
四		△飛		△銀	△歩				
五						銀	△歩		
六			銀	歩	歩			飛	歩
七	歩	歩				歩	桂		
八		角	金		金				
九	香	桂		玉					香

（圖は前局指了迄の局面）

▲平野氏（持駒）歩歩

△七四飛▲六七銀△七五銀▲三四歩△四二角▲七七角△八五桂▲六八角△七七歩

▲小泉六段曰く　七四飛は七五歩と利かす手もあつたが譜の如く運んで七五銀と進んで位を張る方が確かで有ると思つて居た

▲平野六段曰く　六七銀は辛抱して置くべきで七五歩では同銀同飛同飛の順となつて自玉が手薄いだけに面白くない、三四歩は利かして置かないと六六に歩迫を受ける又七七角と上る手の如きは七九角と引いて七七歩打同角八五桂と飛ばれて危険で有る

▲小泉六段曰く　八五桂は敵の作戦に陥る様思ひ深く讀んだが先を利かしつつ桂が良く攻めに利くのでよろしい様に思つた

▲大崎八段講評　小泉君の七四飛と廻つて六七銀と引かせ七五銀と進んだは七七歩と利かして同角八五桂の先を狙つて居るし三三角の活用も生じて手筋である、平野君の七七角は早過ぎた一五歩と位を張りつつ緒を脱して三七桂の翻きを作るべきである

公開欄

本欄は讀者の自由評論の公開を中傷は不可▲行數は十五字六十行以內▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

臺中一中刃傷事件に就いて

S・H生

◇母校臺中一中の刃傷事件に就き卒業生の一員として、いささか私見を述べさせて戴きたい。偶發事件が本島人學生間に惹起せるものなら兎も角、內臺學生間の騒動であることがこの問題の重大性を有つ所以である

◇曾つて小生が在學中には例の學校騒動の突發に遇つたが、それは獨り母校にのみ起つた問題でなくその前後に於て、幾多の同問題が內地に見出されたのは諸兄姉が周知の事である。然しこれと異なる疑點に於て、今回の刃傷事件が各方面に大なるセンセーションを捲き起したのは理の當然であると思ふ、それはそもそも內臺人學生の共學が世人の注視する所であるのに、それが偶然にも臺中一中に發したからである

◇內臺人共學なる政府法はなるほど困難だらうが、而かも既に三日間該事件勃發の報道があつたのに學校當局はどうしたのだらう、何等の說明をもとらず默して『我不關焉』の態度が果して教育家の精神だらうか？一體、當局者は常に事件の勃發を未然に防ぐやう學生を善導すべきである。又本島人學生等は斯る事件に將來有爲の身をフイにしてしまはない樣、心すべきである。一方內地人生徒も本島人の同窓に對しては全くの兄弟の樣な氣持ちで一時的の興奮などは抑へ事ある場合は、閑話の中に解決出來る樣、自ら進んで、溫順の態度に出で、本島人生徒と親交する樣に努めるべきだと思ふ

◇かりそめにも內臺の差別感があつてはならぬ。小生は去る八月二十一日瑞穗丸で歸臺した者であるが約二ケ年半の間、數多の內地人學生や社會に立つて働く人士に接して居たが始終この態度を持し、益々交際を深くし、事ある時は常に「敢けて勝て！」の氣持に出で、幾多の難事件も無事解決して來たのである

◇今では寧ろ本島人の友人よりも向ふの友人が多いと云ふ奇現象を生じてゐるこの現象を今の問題に當て嵌めて實行するのは敢へて不可能ではないと信ずる。而かも今の場合、苟しくも下級生なる者は上級生に絕對服從しなくてはならぬ。願はくは學校當局の今後の善處と指導の革新を望む

臺日案内

料金　三行五十錢　五行七十錢　七行九十錢　十行一圓二十錢　十五行以上一行一圓五十錢（同一廣告三回以上四割引）

書籍　●冬期巡査合格試驗問題及答案集六年版　定價二圓五十錢　郵税八錢　臺北榮町振替臺北二一號　新高堂書店

藥種商　朝所に不健な所にエナモル　各地有名藥店にあり　臺北本町（電）三八〇　菱屋藥店

医院　文武線外科　內科　小兒科　小林醫院　入院隨時　臺北大稻埕

藤井齒科醫院　鐵道ホテル裏通り　電三三九八

寫眞

カメラ交換賣買歡迎　臺北北門町　寫眞器部

高等理髮　江上理髮館　臺北京町三　電二一〇二番

ラヂオ器械　ラヂオの御用は中川へ　超遠距離用球式受信機

大特價五十八圓より　臺北市本町　電二〇四六

自動車　ダイナモ　臺北市大正町

旅館　宿泊休憩　臺北市京町

陶器　共榮商會　臺北市榮町　電話六六番

紙文房具　小塚支店　臺北市京町一丁目　電一〇二七

治療所　りん病の炎　臺北兒玉町三丁目　●石田藥舗堂

雜件　ベニヤ板　臺北市新起町　日本樂器木工部

メガネ専門は和田　臺北本局前西裝通り　電話四一〇五

特許　商標　岸喜鑑　臺北辨理士　電二一八七

秩父銘仙の御用は秩父　臺北表町二ノ一〇　電四〇三七番

ガクブチと洋畫材料は　京町秋田額縁店　電二一三六

サンゴ製造卸　田中・サンゴ店　臺北京町二ノ一　電四四〇八

便所くさみ止　專賣特許　イマヅ芳香油　臭氣を止め芳香を發す

マルカン酢　名古屋　笹田本店　攝津灘　笹田商店

淺田飴　たんせき・引風・よわき人に　声を使ふ人・咽喉の悪き人に

效果百％

初秋!!　家庭常備の榮養飲料　ミクニ印　榮養煮る事い　特長……特許製法による小豆の精製品ですから　さらしあんの様な臭味なく、消化を助けて胸やけせず、便通をよくして脚氣の豫防となり、且不時の來客に好適　用法……あるみ二匙に砂糖三匙と若干の食鹽を加へて混ぜ、熱湯で一分間煮ればよろしい　專賣特許製品　松下商店

胃腸病の治療には　イノール　廣告は宣傳の近道なり

本邦婦人科學界の權威　白木、樋口、原田諸博士推奨　月經障害治療劑　オオホルミン　無月經　月經不順　月經閉止期の障害　不姙症　腰部及四肢の冷感　調節痛　オオホルミンの作用は、從來用ひられたる通經劑とはその選を異にし、卵巣ホルモン學說に基く卵巣ホルモン製劑にして、生理的に月經を催進し正常ならしむ。　女子肺結核患者の微熱に　（知名藥店に販賣す）

●ノーシン　GO！　頭痛　STOP●

資生堂化粧藥　クレモリン　荒れ易い初秋の肌に　皮膚の異狀を治し・肌を艶美にするクリーム　五十錢・三十錢　東京銀座　資生堂

遠足に何よりグリコ　一粒三百メートル　五錢・十錢　大阪・東京　江崎

漢文臺灣日日新報

日滿經濟統制計畫案 決於閣議愼重審議

十九日東京電。日滿經濟統制計畫案所關。這般關係七省次官會議。一切一任於資源局調查。一方政府於關係各大臣之間。各般協議。結局該問題。雖在日滿經濟提携。而其實行乃極重要問題。非可於委員會附託審議。恐於閣議慎重審議而決定。乃爲至當。到達此結論。而其實際方法。先就米、石炭、硫安、鐵類、木材、小麥各品目。以資源局下調查案爲基礎。下調查終了時。乃於閣議。決定最高方針。決定於關係省農林、商工、大藏、拓務及滿鐵各關係官之間。議一切實行手段。

日滿經濟統制調查 設拓務審議會

十九日東京電。日滿經濟統制所關。政府方針。乃如別項。一切決定於閣議審議。結局拓務省考慮與日滿經濟統制。有至大關係之各植民地經濟關係。此際依官制。設置拓務審議會。遂行各般調查。計上豫算三萬圓。向大藏省要求。拓務大臣爲委員長。委員側由關係各省次官、一般民間拓植關係者其他學者等銓衡。數限定四十名內外。

對報告中國意見書 外交委員會決定 求汪及代表部意見

十八日南京電。十八日行政院會議。特別外交委員會決定對於律敦報告書。中國側意見書。討論結果。滿場一致通過。其內容乃如既報。欲期爲全。直即打電於在外之中國代表部。求其意見。且於二十日。行政院各部長。一同往上海。於汪兆銘氏病床。開正式閣議。求其同意。

中國聯盟代表 顏顧兩氏決定發表

十八日南京電。十八日國民政府行政院會議。決定發表如左。

在國際聯盟總會中國代表　顏惠慶

在同理事會中國代表　顧維鈞

甘地氏 無卒倒事實

十八日孟買電。據某外紙所報。甘地氏卒倒之事。監獄官員則謂無此事實。甘地氏在監獄內。作日課機織及默想云。

中外要電

各國共鳴日本主張

十八日閣議。內田外相。報告如左。對律敦報告書。日本正々堂々。指摘其內容有誤。世界各國。已漸共鳴日本主張。英、美、法亦漸諒解日本公正態度。若更努力。則聯盟總會結果。則無悲觀之要也。

早大五十年記念式

早稻田大學。十八日午後一時。在同校大隈講堂。舉行創立五十周年紀念式。秩父宮殿下台臨。齋藤首［相］……

……命令。氏歸朝後。有任事滿洲國參議風說。本人諾否尚屬疑問。

內亂宜息否則不利

中國聯盟代表顏惠慶。顧維鈞。郭泰祺三名。十七日對國民政府。以四川。山東內亂。於中國非常不利。宜速終息。圖國際關係好轉。又駐美公使施肇基氏。亦將中國內政不統一彌縫之事。進言政府。

日大醫科紛擾圓了

六日以來紛擾中之日大醫科。十七日夜學生大會。決定一任於總長。十八日夜九時。總長平沼［氏］……總長。十八日午前八時學生大會。此職告終。事件解決。今週中尚休校。

無腔笛

▲滿洲國外交部諮議朱叔河君。臺北開業醫朱昌祥君令弟也。去十八日歸臺投令兄處。翌日歸省大甲。其語訪客之一節曰。滿洲國政府。所行王道。在救民於水火之中。最重實際。士人其國。必遂其宗旨。先公後私。乃見重於社會。吾臺出身如謝總長。極廉潔。撲誠懇。待已待人。一本乎此。軍部稱之。

▲關東廳管內。及滿鐵沿線區域。勿論平靜。滿洲國新京。奉天。吉林等處。均其戒嚴。頗覺安穩。遠人見哈爾賓。或滿洲里。有列車擄事。便以爲危邦。神經何其過敏也。

▲國中百事草創。在々待人。必道德。能學問者。不於此時。更何待乎。

▲黃春成君函曰。去月四日。新竹林榮初君。將之哈埠。爲其介紹。乃於離十數英里處。列車爲匪所襲。上面髮臺一內地人。中銃而斃。屍落君前。君見事急。藉之掩護。竟以脫險。歸京語及。鄉友皆爲稱慶焉。

▲洪公條君。系外交部命。途調查團員。至黑龍江省都。事畢。將他遊。同僚某諫之。不聽。遂至被綁。爾來經部派員交涉。至今一二十餘日。生死未明。此舉在或日。護路叛軍。此舉在藉之要求餉川。一求五十萬。一九二十萬。雖相差尚夥。理不至遑。置諸人於死地也。

▲某君初到。爲某部屬官。不知何人惡作劇。寫信歸臺。稱其當某要職。經某報發表後。戚友見之。馳函求職。甚有萬里往依者。至則某君謝事已久。朝不顧暮。彼此晤談。痛苦萬狀。後本邦承認。某報又登其職位。今也。進退維谷。欲歸不得。誰之咎歟。

▲求職之人甚多。寄存何意歟。聞有假得木島某紳薦函。經某部川白話體也。長終出。詢之果然者。究竟求職之人。必有才學。而通語言。多帶川資。又得有力者。紹介乘薦。方遂目的矣。顧鄉志願中央。所以念離。各省首都。其他方面。如或有親。抑不至是也。

▲國中語言。首中國普通話。次日本話。又次吳滬話。福州話。四者能操。無往不通矣。文字則不甚［拘］地。

新營郡業佃 巡迴映寫日程

新營郡聯合業佃會。此回由州農會。借入影片。依左記日程。巡迴各地映寫通俗講話。
二十日後壁庄下長短樹。二十一日烏樹林。二十二日白河庄海豐厝。二十三日竹子門。二十四日仙草埔。二十五日番社庄番社。二十六日吉貝要。十一月十六日鹽水街岸內。十七日田寮。十八日新營庄太子宮。十九日王公廟。二十日柳營庄小腳腿。二十一日柳［營］。

本島人服官滿洲國 十餘人未就職亦十餘人 求職者必要帶半年旅費

新京特訊。自滿洲國成立前後。臺灣人懷大志。或爲求職業。而往其地者。陸續相接。統計九三十餘人。目下有業事者。殆居其半。錄之如左。

外交總長　謝介石氏

熱河駐察代表　謝呂西氏

民政部外事科長　洪公條氏

民政部衛生科長　蕭金詢氏

哈爾賓市政籌備處第二科長　謝秀綠氏

立法院第三科長　黃春成氏

外交部諮議　朱叔河氏

此中謝總長及謝呂西氏外。俱屬薦任者。即本島所謂奏任官。其他亦有幾人。降前爲委任。後見整理。除爲委任（判任官）者。此外亦有委任官。辨事員。雇員等。均非要職。略之。內定爲歐美科長。不日任命林木源二房林景仁氏。內臺南楊南洲氏。東京商科大學卒業生。嘗就職於大成火災保險會社。今爲執政秘書察法平氏秘書。又有本源某氏。運動爲通商司長。雖望實現。但未就職者。不遂或拔用。數人全體見川者。多屬日本留學生。及在臺有相當學歷履歷之人。有志渡滿者。必要通日華語。及能和漢文。並帶半年旅費云。

對軍縮五國商議 帝國海軍態度

十九日東京電。國際聯盟一般軍縮會議帝國全權松平駐英大使。窺在倫敦。與美國代表黎美士氏會見。關海軍々縮五國商議開催。就討議基礎案。十八日在外務省。重要報告。同時請訓。有田次官。即通達於海軍當局。徵其意見。海軍慎重協議結果。似決定左記態度。即近日。英。美。法。意五國海軍々縮私的會商開催時。帝國當然參加。歐美最近情勢。有微妙戰保問題。對於英國之邪麥三分一減少案態度。次第緩和。有傾向於協力邪麥案爲其基礎之兆的一律縮減方向。想法國亦依安全保障問題如何。而與之協力。亦未可知。若此義的一律減邪麥案之方式。作五國商議基礎採用時。帝國海軍。欲斷然拒絶之。而招商議不成立之虞。亦非策之得者。萬一直面此事態時。帝國海軍。當闡明態度於世界公論之前。故其對案。須堂々發表。近日中將蒐集海軍軍縮所關總括的帝國海軍態度所信。然後由岡田海相。於閣議求閣僚諒解。臨機於海軍善處也。

人爲的煽揚米價 一期蓬萊當限暴騰 在庫激減更助昂勢

去十三日前場。一期蓬萊米。落至最低。當限五圓五十三錢。爾後浮動買派一掃。移出商又硬化。價乃日起。十八日後場。當限五圓八十八錢。中限五圓七十七錢。然某內地人移出商。因買米甚多。自十九朝立會前。即以人爲的煽揚米價。午前九時頃。當限價猶六圓一錢。迨九時半期米來至五錢。形勢頗好。一荷二十一圓四十一錢。五荷五十五錢。即起至六圓二十錢。基隆在庫減至一萬六千百五十七袋。因糯二千六十八袋。到著米只二十七車。在庫米如此少數。乃最近未曾有之事。現米六圓十錢。市場內立會。來賣者甚已走盡。當限落至六圓五錢。近數日間之變動。爲最近沈靜米界所未曾有也云。

述謝辭 囑本社傳達 對寄贈慰問袋

本社慰問袋募集計畫。獲官民各方面。多大贊助。乘優秀成績。關此事務告完。河村本社長。乃于去十八日午前。訪臺灣軍司令官阿部中將。及海軍之鈴木駐在武官。述向滿洲及對岸將兵。贈與慰問袋之禮辭。並謝對於該慰問袋發送其他直接間接之援助。同日午後。滿水參謀長。爲軍司令官代理。訪問本社。對此次之舉。述謝辭。囑介本紙。對多數寄贈者。普爲傳達云。

九二式飛機試驗飛行

屛東飛行聯隊。係由內地運到新銳九二式飛機。現由關係者組立中。一面俟飛行場修繕完了後。試舉驗飛行。又中隊長鍾內大尉。爲帶該機操縱其他要務出差內地。近日中已歸隊云。

埤頭庄長 送迎會盛況

北斗郡埤頭庄長陳炎星氏。於九月末。任期告滿。當局以本人年老告退。乃改任張清風氏。張氏爲庄中望族。曾執教鞭數年。後因家務繁忙。不得已。辭退教職。素性溫柔。對於地方公益事。頗熱心。精神物質。犧牲不少。者番受上峰之任。長於該庄。一般稱爲得人。於是由庄有志葉萬宮。張再添。許執。黎有。陳嵐水諸氏。出爲發起。去十七日。午後一時。爲兩氏大開送迎會。會員二百餘名。當日假小埔心媽祖廟廣庭爲會場。並演戲以爲餘興。比到定刻。會員擁至。當日來賓。而外。郡有山口庶務……

機動車試運轉

新大型機動車二〇一號。去十八日午前九時半。至午後一時半。舉試運轉。該號爲川崎所製。往日試運轉。亦舉佳績。與日本車輛會社製一〇一號。外觀內部殆同。定員百二十名。機械亦告順調。動搖殊輕。兩車擬于近日在基隆、桃園間。或臺北、淡水間運轉云。

高橋技師 調查東部砂金

殖產局礦務課高橋技師。此回受總務長官赴東臺灣。就砂金問題。其他說明技術的方面。乃乘機。再詳細專門的調查砂金。按來二十五日歸北。

同安丸 載糖八千餘斤 赴澳門未歸

高雄市旗後町。中國貿易商東源商行所有發動機船同安丸。五十三噸。于月十一日。載糖八千餘斤。由船長黃坤外七名。開往澳門。至今尚未歸港。同行憂慮被中國官憲。爲密輸入船抑留。現向各方面調查中云。

屛東街有志 訪問知事 懇淡水溪築堤

高雄州屛東街。城高川龍天陳氏。去十八日午前十時。訪野口知事。陳情其港庄下淡水溪沿岸築堤。及促進護岸工事等云。

廈門永盛錢莊破綻 却與臺北永盛無關 一般關係者皆得安心

廈門永盛錢莊。爰因買邪關係。陷于破綻。此報一傳。世人有誤解。廈門永盛錢莊。爲臺北陳天來氏所經營之永盛公司支店者。關係者。雖無係無憂疑之心。然實則廈門錢莊。爲中華人陳延祉。鄭仙水兩人所經營。非屬臺北永盛錢莊支店。在臺北永盛公司。對一般授受關係者。早已聲明決無迷惑。皆得安心。又據同公司陳清波氏談曰。廈門永盛錢莊。在公司與銀二十三萬圓。（金二十一萬圓）目前再有六萬圓手形。本公司。因事有可疑。乃拒絶之。廈門永盛錢莊。經營者屬中華人。曾聞其在上海。投機買邪。致見破綻。與本公司全然無關。本公司借入金八萬圓。貸出二十五萬圓。現在現金十萬圓。故對於支出。亦毫無礙。授受關係者。已得安心云々。

員林郡聯合 體育誌盛

第九回員林郡聯合體育會。依例于十一月十七日午前八時起。至午後三時。在員林公學校。舉行其競技。從來以各小公學校爲單位。本年改爲郡下各街庄爲單位。比例年更盛。其成績如左。

一、優勝旗競爭　優勝者
男子兒童　員林街
女子兒童　員林街
一般庄民　永靖庄

二、優勝班競爭（八百米繼走）
男子兒童　坡心庄
一般庄民　員林街

臺展續行審查 入選畫發表二十日 招待日二十四日

臺展之出品畫。較之常年增加。且多傑作。鑑查第一日之十八日。西洋畫。自午前十時起。在教育會館。由和田三造。小澤秋成。鹽月善吉。廣繪審各審查員合議。東洋畫。自午前九時起。在臺北第一師範。由結城素明。鄕原藤一郎。木下靜涯。陳氏進各審查員相合。嚴重審查。十九日。亦賡行審查。最後決定。入選畫發表。在二十日。落選畫。亦自然於同返還。又來二十三日。開入選者懇談會。二十四日。爲招待日。二十五日起。向後十日間。爲會期云。

植物檢查主任 開礎商會

三宅暫府植物檢查所長、去十八、九兩日。赴臺中州員林植物檢查支所。集全島各地植物檢查事務所主任。開植物檢查事務礎商會。十九日會議終了後。齊赴南投郡名間庄。視察柑橘地。

二女歸途 眞珠花被奪 犯人一啞子

高雄州東港郡佳冬庄溫子人。張老溪之次女張氏滿。年二十。同陳有從之妹陳氏秣。年二十二。去十七日。同伴赴潮州郡枋寮親戚之家。下午五時半。歸至佳冬溫子間道路。有盜欲强奪秣之頭上眞珠花。兩人極力抵抗。因力弱不及。竟被奪去。强盜由現場。乘自轉車逃走。東港郡警察課接報。實地調查結局。判明係佳冬庄人。十吳瑞泰。啞者。年二十二所爲。現極力搜捕中云。

全島華僑 代表會議 十九日在臺北

本島華僑。月十九日午後三時。假臺北中華總會館。開第六回全島華僑代表會議。臺北代表。林揖川氏外二名。其他爲基隆。臺中。臺南。高雄。屛東。新竹。花蓮港等處者。議題爲第五回代表會議所決議案。尚未實行。擬積極的促進。並磋商駐臺鄭新總領事。派任在即。其歡迎事宜。詳俟後報。

福州布戒嚴令 排日團對島民暴行 侵入日本陸戰隊上陸云

南貓南華航路大球丸。去十八日午後二時。由福州經淡水。入基隆港。齎到情報如左。

去十四日午前八時。福州南臺小橋四水若本島籍民綿布商同隆洋行。有類於學生靑年六名闖入。擊毀同店關係者黃永官。又其前晚十三日夜。南臺鴨安瀾本島人石炭商泰隆洋行中華人運搬夫。被刺重傷。同中華人雇人某。則由排日團。遂到猛烈的追狀。排日廣告。排日運動。實見猛烈。十九路軍。於民國日報。公然揭載。十五日同市救國鐵血團。福州十四日夜。佈戒嚴令。禁止一切通行。是亦豪語。若日本陸戰隊上陸。則命武裝解除。又蓋爲風傳。本島籍民。欲與其匪襲反目云。

瓦厝埔瀑布 郡守等往觀

既報嘉義郡竹崎庄瓦厝埔管內。今回發見大瀑布。爰是同郡。組織實地視察團。以豬口郡守。佐野警察課長。及課員。新聞記者等。計十一名。去十七日午前七時半。乘自動車出發。至竹崎庄。合同庄役場役員。及保甲役員一行計二十餘名。是地在獨立山後。即棒樹坪。去竹崎庄十六案里。一行至瓦厝埔派出所。換登山服。後由竹崎分室主任。仲齊部長及發見者。只腰巡查部長並瓦厝埔保甲聯合會長王忠三氏前導。乘輕便車。至金獅寮嘉義市水道之水源地。下車途步先至澄潭第一瀑布。該處流下二十餘尺。一行小憩約十分間。而至獨立山後珠龍洞大瀑布。是處直流九十餘尺。傍有礦水穴。風景絶佳。聞當局將計畫開鑿自動車道路。以便探勝之人云。而臺南州今川知事。亦按近日中入山云。

外種豚病疫

嘉義郡溪口庄木幽二八一柯劉氏好飼養之外國種豚。去十六日。有二頭發生吐瀉病。至十七日死亡。即由當局爲豫防傳染。對該地方各部落。行健康調查云。

南州僞幣案 嚴命責成 早日破獲

臺南州下發生十圓之僞幣案。自本月上旬。新營郡鹽水信組發見以來。合昨之新發見者。已有七枚。其僞造之方法。經臺銀本店之鑑定。已知係以細筆描畫而蠟印者。故當局料因是法所費工夫不少。意其僞造無多。然去十八朝。臺南市港町煙草賣別人陳鴻鳴氏處。所售煙款三千二百圓中。將存放於三十四銀行臺南支店時。又發見一枚。直即報諸臺南警察署。署齋藤警部補。帶同値班刑事。前往該行查察。據陳氏店員所言。該幣係由各小賣店鳩集者。因所收之款甚多。故不知其出處。警察當局。以範圍廣汎。搜查上頗感困難。是以小山署長。乃召集齋藤。瀨川兩警部補。暨署各刑事。於署長室。報告發見經過後。遂嚴命責成其早日破獲該案。且就搜查方針。妥爲密議。刑事將潛行查訪。務欲於近日中破獲之云。

溪口公行事

嘉義郡溪口庄溪口公學校。本月二十五日。開校三十周年記念。於同日午前九時半。在同校講堂。舉行記念式。式後機關兒童成績展覽會。並開運動會。作紀念日祝意云。

牛稠溪大格鬪案 本島人一邊處懲役 在臺南法院公判言渡

既報嘉義市役調牛稠溪架橋工場。本年五月三十日午前九時半頃。有內臺人執刀銃大格鬪。已登前報。當時嘉義警察課。兩方受召問後。內地人一邊四名釋歸。而本島人五名。解送臺南地方法院嘉義支部檢察局。十八日第三回公判。井上檢察官立會。求刑陳五十二懲役二年。外各一年。花城判官言渡。各處以懲役如左。

嘉義市北門町一丁目九前科四犯　懲役一年半　陳五十二（三〇）

同　榮町四丁目五六前科一犯　懲役一年　李元（二二）

同　檜町二丁目六五　懲役八箇月　王眼（一九）

同　榮町七丁目一三　懲役八箇月　林福（一九）

嘉義郡民雄庄牛稠溪一三四　懲役八箇月　謝萬來（二二）

是々非々

基隆某南邊支店。外交員某。每出張稻陽。花天酒地。金從何來。（告主人）宜臨市場。自去年實施米契約以來。境內一般商人。漸能了解。但村農尚未周知。礼貨將來生事。多帶游式械鬪。屢受警官沒收。或處罰。村農多貧困之人。那堪此。法制實施。民多恐行。望保甲役員。及靑年團。努力設法教他何如。（林時杏）淡東藝道院。及東方書道。兩會約定來十一月二十四日起。十二日。開於上野公園美術館。新竹既得審查會員。現正忙於準備出品。所望本年多々入選於文人界及篆刻方面也（一見猶心客）

占據他人家屋 橫領屋稅

臺中署。頃于市內榮町三丁目。有危險家屋四座。所有者市內下橋子頭人。何實六氏。命其修繕。嫌何自白。同屋自大正十年以來。被第三者。橫領每月屋稅百三、四十圓。且請求遷徙。亦不肯聽。係官聞之。大爲驚駭。即喚前記居住之人。嚴重究問中。其橫逆等於强盜團云。

新莊郡鷺洲 迎神熱鬧

新莊郡鷺洲庄々民。照年例於去十七日。迎羽蓮寺觀音遶境。午後一時。陣頭出發。依路關順序入街後出村落。直迎至同四時始散。同日稻艋基。暨附近村落。往觀者衆。甚呈盛況。

照會逃出少女

十五日午前五時頃。高雄驛待合室內。有一擧動不審之本島人少女。被驛取締山田巡查發見。即帶往高雄署。取調後。判明爲岡山郡岡山庄岡山林足之長女林氏金。年十八。據云爲聞知其父欲賣伊爲酌婦。乃於十四日午前十時頃逃出。徒步來高雄市。同夜宿在鹽埕町市場附近的本島人旅館。欲求爲下女。目下由署照會其身元云。

僞電氣技術員 無錢遊興

基隆市入船町二丁目。門田正雄。年二十四。於本月四日赴臺南。詭稱爲電氣技術員。由臺北出差而來者。宿於本町大和旅館。計宿資十一圓餘。不爲清理。飄然逃去。至十六日再赴新町娼寮明月樓。呼妓佰酒。計費十二圓餘。亦詐言將向大和取款。亦如黃鶴。經樓主被害者報告。去十八朝。遂爲臺南警察。派出張所刑事所捕。現拘押追究餘罪云。

北港

陳情架橋

臺南州北港郡下交通接緊昌之斗六。西螺之間。因該途中有廣大之泥尾溪。今尚未架橋。交通上十二分不便。經屢大陳情于當局。亦未得實現。者番過新虎尾溪官地貸下契約。州側井地方課長來斗。同街有志。利此好機。即訪問課長。再一番陳情。託爲盡力之也。

保正會議

北港郡警察課。去十五日午前九時起。召集郡下各保正九十餘名。假公會堂。開保甲所關諸事務會議。首由阿部郡守。起述開會辭。繼由郡警察課長。一一說示。至正午而散。

煙酒視察

北港郡酒類煙草小賣人組合。者番組織組合員視察團。一行五十名。爲視察中北部小賣業務狀況。由組合長簡行立氏引率。月十九日午前九時出發。旅程按六日間。

東石

水產船歸

臺南州水產指導船新進丸。於去十一日。引率東石港黃裕氏所有漁船福裕丸。前往澎湖近海。爲關漁業實驗指導。東石郡森安庶務課長亦同乘。該船與漁人共同生活。實地見學。不料澎湖海面風浪險惡。不能漁菜。乃就其地踏指導。于十四日歸府。

臨檢旗亭

東石郡朴子街某旗亭。去十五日夜。突被警官臨檢。內中有無鑑札妓女。聞報警官一到。恐其查及。自上府樓欲避。誤將險處。墜落地上。幸不受傷云。

生徒旅行

東石郡布袋庄布袋公學校。第五六學年生徒六十一名。豫定來二十日。由王。相因。州川三訓導引率。往南部修學旅行。行程按四日間。

車體檢查

同郡訂來二十五六兩日。對郡下各線自動車。施行定期車體檢查。由臺南州保安課派遣員檢查云。

道路測量

臺南州土木課森澤技手一行十九名。爲測量海岸地方之預定道路。自本月十日。由新營郡赴東石郡。經蔗竹庄。布袋庄。至十四日入東石庄。豫定至來十九日全部完了。乃轉赴北港郡。

新竹

紛糾解決

竹都香山氏海岸某所。前爲米粉工場。漁業者。據漁場所權。請求移轉。以武力妨害。而本問題。爲數百保甲。應訊數官保護抑制紛糾。者番郡州水產會。居中調停。命其漁業者。守所當爲。雙方圓滿解決云。

業佃施設

新竹郡下山崎何家業佃會。去十六夜七時起。由會長友家氏招集佃人百餘名。開業佃協調懇談會。事所關之協商會。當夜何氏。謂現下農村疲弊。乃提出救濟之施設案。要由明年度實行。附一同審議。席上均無異議通過。何氏所提議者。即自明春。改播六十五號米。留成愛國號。更拓荒廢地造林。併在田畔。設防風林。各戶農家要設堆肥舍一處。以促綠肥採種田。防段苯園。獎飼種豚。併外國種煙。所關諸項。

臺中

賠彩大賽

臺中商工協會。將主催年末投品付聯合大賣出。開評議員會結果。出席者合委員。三十一名中。贊成十六。反對十五。爲此乃付條件。諸商店可受投品抽籤券數。若達十五萬枚。即金額七千五百圓以上。方爲主催云。

開運動會

臺中師範學校。去十七日。神嘗祭佳辰。自午前八時起。在校內。開第六回陸上大運動會。竹下州知事。暨來賓多數列觀。競技種目。四十七番。午後三時散會。

斗六

視察團來

州下北門郡々役所職員學校長街庄長區委員等所組織之視察團。一行十六名。去十八日來斗。視察斗六街聽役部落。海豐崙之地賦會。夜間視察斗六女子國語講習所。及海豐崙石榴班九芎林。林內等之國語講習所之學習狀態。

赴任敍禮

斗六郡視學。河野四郎氏。轉嘉義市。其後任乃臺南市花園小學校訓導田口國一氏。本月十八日赴任。由大井教育係案內。向街內重要官紳處敍禮。

會事

▲臺南華僑商會。因爲新總領事。不日就任。正爲籌備。會員希望參加者。可對林揖川商行內屆明。

人事

▲七星郡士林庄三角埔保正陳振貴氏。去十一日逝去。享壽六十有七。氏支夫子四人。現皆在家。訂來月中旬出殯。

▲大甲杜香谷氏。日前來北。宿市內日英館。

廣告

去十六日……印鑑……［illegible］

婦人倶楽部 十一月號

臺灣日日新報 發賣元

第一別册附録 編物 和服 洋服 手藝

子供物一切の作り方

生れるとすぐ必要な赤ちゃん着から、小學校一、二年用通學服迄、子供のものなら一切合切何でも出來るので大評判！悉く帝都一流デパート洋品部子供服部及び斯界權威の發表で、婦人雜誌中第一等の名附録と、全國到る處で物凄い人氣!!大評判です!!

▲赤ちやん物一切の仕立方
▲子供物下着類一切の作り方
▲子供用小物一切の作り方
▲子供物和服一切の仕立方
▲子供洋服十二種の作り方
▲便利な實用鯨尺メートル換算表つき

第二別册附録 髪から化粧着付まで

新美容法大集

世に美容法の本は澤山ありますがこれ程親切で行屆いた本はありません。醫學博士、美容師三十九名の御執筆で、全部高級印刷八十頁の美本、寫眞を見るまでもウットリする美しさ!

(以下は内容のほんの一部です)
▲美人をつくる水の話
▲肌を美しくする美顔料話
▲美顔マッサージ法の急所
▲眼と眉を美しく見せる法
▲眼を美しく涼しくする手術
▲鼻耳を美しく見せる化粧法
▲生え際を美しく見せる法
▲口許を美しく朗かに見せる法
▲歯並をよくする整形歯科の話
▲頬をゆたかに美しく見せる法
▲肌を非常に美しく見せる法
▲衿足を特別美しく見せる法
▲醜い手足を美しく見せる法
▲誰でも美しくなる化粧法秘訣
▲香水・白粉・頬紅・口紅の選び方
▲必要な結髪用具の選び方
▲毛髪を美しくする毎日の手入れ法
▲簡單に出來る洗髪法秘訣
▲白毛赤毛の上手な染め方
▲お髪の上げ方手入れの仕方
▲體の恰好に合ふ着付の仕方
▲着くづれのせぬ着付の秘訣
▲洋裝をされる方への御注意

…について男ばかりの座談會

山田わか女史司會のもとに結婚適齢期の青年が、あこがれの結婚問題に對し、赤裸々に自分の希望やユートピヤを打ち明けた大評判の座談會。ぜひ御覧下さい!

…で出來る鍋ものの汁もの廿五種の作り方

料理通で有名な小泉迂外、宇多喜野、秋穂敬子、林千代子の諸先生が腕にヨリをかけて發表されたもので、安い材料と僅かな時間で、美味しく出來るので大評判!

…メリヤス・婦人服子供服の作り方

近時盛んに流行し始めた毛糸メリヤス(ジャージー)で作る婦人服子供服の作り方、佐伯房子、河合茂子兩先生の御親切な御指導で初歩の人でも上手に出來ます。

▲肺病肋膜の自宅療法の急所
▲ニンニクの臭くない食べ方
▲キメをこまかに肌の色艶をよくする食物
▲醫學上から見たら善い結婚・惡い結婚
▲水谷八重子・栗島すみ子 …着付の急所種明し

歌姫ロマンス

◎スキーが取持つ縁 新婚の歌手四家文子さん
◎進んで開いた運命の扉 流行歌手淡谷のり子さん
◎樂壇の高島屋!混血の美貌歌手佐藤美子さん

▲新型流行の婦人服・子供服大畫報
▲結婚生活の幸福増進法(青柳有美)
▲職業婦人としての歡びと苦しみ
▲愛兒の爲めの母親醫學(泌尿器の巻)

婦人衛生について 人知れず惱む方へ

▲婦人科の病になやむ方へ…岡本博士
▲局部の惡臭に惱む方へ…櫻井博士
▲無毛症でなやむ方へ…山田博士
▲月經異常になやむ方へ…篠田博士
▲子寶がなくて惱む方へ…福井博士
▲夫の性愛に滿足出來ぬ方へ…朝岡博士
▲月經時の精神異常發作で惱む方へ…島田博士
▲性病の夫に仕へる方へ…池上博士

婦人問題で問題の戀愛小説 不滅の像 加藤武雄

▲戀愛小説 良人ある人々…菊池寛
▲探偵小説 街の毒草…大下宇陀兒
▲滑稽小説 僕の結婚…澄川哲朗
▲長篇講談 不知火物語…愛宕龍之助
▲文藝小説 父と子…池田宣政
▲創作 墓参…岡田三郎

大懸賞 流行毛皮ショール五百本贈呈

葉書一枚で貴女の運をお試しあれ

附録三册と 五十錢(送料九錢)

東京本郷 大日本雄辯會講談社

三共肝乳は
飲みにくい、飲ませにくい肝油を、快く飲めるやうにしたものです、

即ち特許の方法で、優良な肝油をその本質をいためずに、これを濃い牛乳の様な外觀となし、更にその臭ひを消すために佳快な香料を加へ、又味を良くする爲に適度の酸味を與へてあります、從つて外觀に於て臭味に於て、共に肝油たるの感じを持たないものであります。

肝油が發育を助け、病氣に對する抵抗力を强め、健康保持に有效なことは、疑ふ餘地のないところであります。

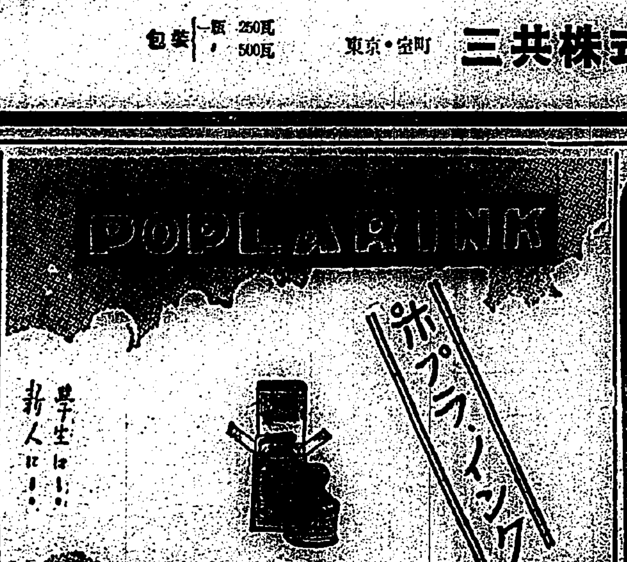
(詳細説明書にあり、御申越次第無代進呈す)

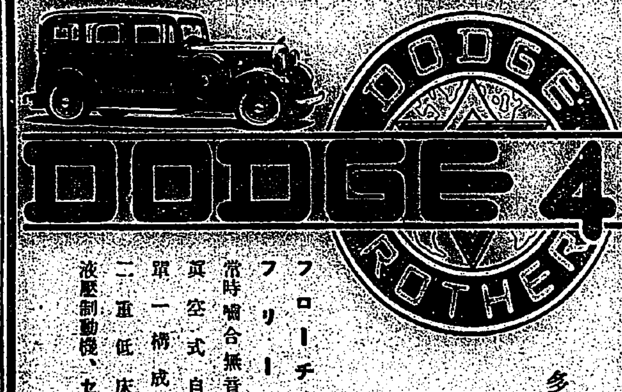
包裝 一瓶 250瓦 / 500瓦

東京・室町 三共株式會社 大阪・臺北・紐育

三共藥品

●自力更生!頭腦の疲勞はノーシンで●





多數の顯著な特徴を具備した
ダッヂブラザース
新四氣筩車

フローチング パワー　六十五馬力 エンヂン
フリーホイーリング　カウンターウエイト付曲柄軸
常時嚙合無音歯車撰擇式傳動機　全壓送式潤滑法
眞空式自動的聯軸機　クラッチデイスク衝動緩和裝置
單一構成全鋼鐵製車體　ホイールベース百十三吋
二重低床橋梁式車架　豪華な車内の裝飾調度
液壓制動機、セントリフユーズドラム　流線美を帶びた端麗な車體

代理店
合資會社 橋口商店
臺北市京町 電話…

文部省 體育研究所 推奨

一粒三百メートル

遠足に何よりグリコ

江崎グリコ株式會社

行旅死亡人公告
一、住所氏名 不詳 内地人男 推定年齢六十四五歳
二、人相 身長五尺四寸六分 上下齒ナシ 上齒揃義齒 …
三、着衣 … メリヤスシヤツ二枚 …
四、携帶品 小刀(切出)外六點
右者當庄 … 抗地内 … 引取人ナキヲ以テ … 心當リノ者ハ當庄役場へ申出ラルベシ
昭和七年十月十四日
龜山庄役場

臺北市街圖
定價金五十錢 送料四錢
發行所 臺灣日日新報社

大阪商船
門司行 神戸行
蓬萊丸 十月廿四日 …
扶桑丸 十月廿八日 …
瑞穂丸 十一月三日 …

近海郵船
門司 神戸行
朝日丸 十月廿一日 …
大和丸 十月廿六日 …
吉野丸 十一月一日 …

福岡臺灣間の取引ご航路 博多に寄港は臺灣にも利益

一

最近博多商工會議所から總督府へ臺灣と博多との間に定期航路の開設方を陳情して來たが、その陳情要旨は博多と臺灣との取引關係は年年緊接の度を增しつつあるのみならず福岡縣と臺灣との交易關係は內地各府縣に比して最も重要なる地位を占めてゐる、然るに博多には現在定期航路がない爲めに臺灣より移入する物資は多く門司を經由し福岡縣の物資も門司を經て臺灣へ移出せらるる有樣でその間種々の不便と經費を要し商取引の發達を妨げられ生產者、消費者共に不利なるのみならず臺灣に取りても不利なるものがあるので高雄基隆線を博多に寄港するやう取計はれたいといふのである。

二

博多港は福岡市と隣接し福岡市が工業都市として發達しつつあるにも拘はらず博多の港灣と云ひ之に伴ふ陸運の設備と云ひ之に伴はぬ憾があつた、此處に於て博多港修築の計畫が進められ防波堤の築造、港內の浚渫、埋立、岸壁の築造、繋船上屋等を昭和四年度より着手し七年度に完成する豫定で之が總豫算に四百八十五四千圓を投ずることになつて居り之が完成すれば四千噸級汽船二艘、三千噸級二艘、千噸級汽船四艘を繫留することが出來る設計であるから臺灣航路の三、四千噸級定期船を博多に寄港せしむるに少しも差支がないといふのである。

三

思ふに福岡縣の總生產額は約六億圓の巨額に上り臺灣の總生產額と殆ど匹敵してゐる、農產と鑛產の外、工業が如何に發展し將た工產品が如何に豐富であるかを窺ふことが出來る、又福岡縣と臺灣との交易關係を五年の統計にみるも福岡縣より臺灣への移入は二千百二十一萬圓に上り大阪、兵庫に次いで第三位を占め、臺灣より福岡縣への移出は二千二百七十四萬圓に上り東京、大阪、兵庫に次で第四位を占めてゐる、又臺灣內地間の移出入額に對して前者は一割弱、後者は七分弱に相當してゐるにみてもその地位が往年に比し著しく向上し將に兵庫縣に追隨せんとしてゐることは大に注目すべきである、更に貿易品をみるに福岡より臺灣への移入品は鐵、紙、セメント、棉絲織物、麥酒、肥料、米、麥粉を主なるものとし臺灣より福岡縣への移出は米、砂糖、芭蕉を主とし鳳梨罐詰、木材、鹽、酒精、切乾藷其他多種に及んでゐる、殊に本年の如く臺灣米の九州へ仕向けられたるもの甚だ多く中にも福岡縣一帶にかける同米の消費は同縣下に於て農村の隅々にまで及んでゐるといふことである斯る實狀からして福岡縣と臺灣との交易關係は益々有望であることはいふまでもなく此の兩者を結ぶ爲めにも有望なる奧地を控へる博多に定期航路を寄港せしむることは相互の利益であると云はねばならぬ。

四

いま一つ看過出來ないのは臺灣より直接福岡へ直移出することである、福岡市の商取引關係は福岡縣下全部、佐賀縣、熊本縣の全部、長崎縣下壹岐、對馬兩島、大分縣下西北部の各地方に及んでゐる、然るに從來右は門司の商取組合の手を經て福岡に移入せられ一噸に付二圓二、三十錢の運賃諸掛を負擔し消費者に取りて少からぬ不利を免れなかつたが、博多では之を直接移入すべく臺灣受組合の設立を要望し總督府へも陳情することになつたが、之は臺灣としても進んで販路を開拓する爲めにも又中間手數料を省き生產者の利益を圖る爲めにも實現すべきことである、而して右港灣修築計畫の內灣內の防波堤及浚渫工事は既に其三分の一以上進捗し埋立工事と相俟つて近く岸壁工事にも着手し得る事となり明春迄には防波堤內の繋船を安全ならしむることを得、海陸連絡の設備完成の上は福岡市の商取引關係と共に西部の取引は福岡市を中心として各方面に配給せらるる形勢にあるから石炭受組合は航路の開設と共に是非實現させなければならぬと思ふ。

五

航路の開設が貨物の販路を開拓しその取引を活潑旺盛に導くことは申すまでもないことで臺灣の產物とても消費地へ直接移出することが出來れば生產者に取つて非常な利益であるから經濟が許す限り高雄線をして門司へ寄港する序に博多へも寄港させることにつき特に總督府及當局の考慮を望まなければならぬ

懸案の共婚制度 愈々正式に實現の運び

兵役關係者を除く司法省原案 法制局で承認に決定

【東京十九日發電通】十年來の懸案で歷代の總督が何れも內臺融和を圖る方針から完備せる共婚法の制定を要望してゐたのに鑑み司法省は該法規制定中の所この程原案完成し之を法制局に廻付し法制局は十九日右審査會を開き審議の結果兵役關係者を除く內臺婚姻を內地の婚姻法と同樣の效力ある律令又は勅令に依つて婚姻せしめるとの司法省原案を承認するに決した、そのため法制局は近く司法省と打合せの上臺灣總督府に對し本原案を基礎とし婚姻規定を制定せしめ總督府より政府を通じ之が實現方法を執らしむるに決した、依つて多年懸案の共婚制度も愈々正式に實現の運びにあるため內臺融合に更に一進步を來すであらう

退職の場合の昇給などを廢止 恩給法改正案の要綱

【東京十九日發電通】恩給法の改正に付き政府は來議會に提出する目的を以て調査を急ぎつつあつたが、今回恩給法改正要綱が出來上つたので本日の閣議にて審議の上次回の閣議に提案することになつた、而して政府は物價騰貴の趨勢より改正に依り財源捻出不可能にて今回の改正は財政的改正に重點を置いて立案してゐるが要綱中主なるもの次の如し

一、受恩給勤續年限を延長し文官在職年限十六年、武官警察官監獄職員は十二年とすること
一、退職の場合の昇給を廢止し年額四百萬圓の增額を防止する
一、現受恩給者で現に職務にありその所得恩給と共に三千五百圓以上の者には恩給を段階的に遞減す
一、特別法を設け恩給局をして受恩給者に直接資金融通の便に當らしむる事
一、現在の遺族、扶助料は恩給額の年額なるを死亡後相當期間恩給の三割解除の旨

凶作地の農作物を見る齋藤首相

齋藤首相は十四日午後三時から官邸に財界各有力者及貴衆兩院議員を招き北海道水害、凶作地の罹災民救助に關する義捐金募集につき懇談をとげたが後齋藤首相は具さにその慘狀を說明するところがあつた(寫眞は北海道の農作物を見てゐる齋藤首相)

天皇陛下から懇篤な御禮電 溥儀執政に對し

【東京十九日發電通】天皇陛下には溥儀執政が十九日謝專使をして御物品を贈られたに付き同日執政に對し懇篤なる御禮電を發送された

答禮の精神により今後も努力 謝專使が聲明書

【東京十九日發電通】答禮の大任を果し宮中より退下の謝專使は午前十一時半左のステートメントを發表した
只今宮中より罷り大過なく答禮の重任を果し同慶に堪へぬ、又陛下より鄭重なる勅語を賜り感激に堪へぬ、私は答禮使として來朝したものだが形式的答禮の意味でなく誠心誠意を以て徹底的親善を圖らねばならぬ、吾等は答禮の精神に依り今後何時までも努力すべきで答禮期の終了を以て責任の終了せるものとは思はぬ、今後とも滿洲帝國の發展で盡す決心である

鄉軍全國大會で愛國運動の先驅 廿九日日比谷で開催

【東京十九日發電通】帝國在鄉軍人會では來る二十九日日比谷新音樂堂で全國大會を開き、會員約七千名參集し、リットン報告書の認識不足を指摘し愛國運動の先驅をなすこととなつた、當日は各國務大臣、政務官、軍部、樞密院、貴衆兩院、在京各新聞通信社代表等を招き陸海軍大臣の祝辭を求め、陸海軍大臣及び會長の訓示後決議聲明をなす筈で、終つて一同示威行進をなし二重橋前で萬歲を三唱解散の筈

木下新三郎氏中心の座談會 きのふ本社で

本社の初代主筆木下新三郎氏の來臺を機とし同氏及び當時よりの知人たる三好德三郎、安田勝次郎、尾崎秀眞氏等を中心とする座談會が十九日午後三時より本社三階會議室に開かれたが本社同人も多數出席、明治三十年以後の臺灣事情を主とする話が自然主題となり當日の寄つての放談に基づく督府部內などの話、官の爲めに蠶つた遺聞談、法院長免職問題として世間を騷がせた高野孟矩事件から臺中陳領會等の話題に至り內外前面の事情に至る懷舊談は盡きる所なく午後五時に至り散會したが懷かしい集まりであつた

本島產金狀況 總督、拓相に說明 けふ午前中に參內

【東京十九日發本社支局特電】中川總督は十八日朝拓相官邸に永井拓相を訪問したが頗る多忙の折柄とて短時間の會見に終り他日を約して辭去した、當日は總督より上京の挨拶を爲しその序を以て臺灣產金の狀況を述べたに過ぎなかつた模樣、因みに臺灣產金に就ては近時特に世人に注目せられ金鑛業の[illegible]所[illegible]實現せらるるに至つたが或はこれに要する經費の一部が八年度豫算に計上するやも計り難き形勢で總督は仲々熱心の模樣尙中川總督は宮內省に宮相、侍從長を訪問[illegible]二十日午前[illegible]參內する所あつた[illegible]

山本內相手に負傷 宮城縣下視察中に

【仙臺十九日發電通】宮城縣下の[illegible]視察中の山本內相は十九日午前十時半本吉郡柳津村の北上川閘門視察の際開閉器のモーターに手を挾まれ負傷したが視察其他には支障ないと

吉田大使が意見書携行 松岡全權には概要を內訓する

【東京十九日發電通】リットン報告に對する帝國政府の意見書は略完了したが、第一部起草未了のため二十一日までに閣議決定の運びに至り難くなつたので、二十一日夜出發の松岡全權には內田外相より概要を內訓するに止め、意見書は二十八日の次便を以てゼネバに出張する駐伊大使吉田伊三郎氏をして携行せしむることとなつた

極東は依然平和破壞の情態を繼續 米國務省の極東部長が演說

【ウイリアムスバーグ(バージニア州)十八日發電通】米國務省極東通たる同省極東部長スタンレー・ホーンベック氏は本日當地に開かれた國際關係協會の會合に於て一場の演說をなし極東情勢に付き左の如く述べた
極東の情勢は依然として平和破壞の情態を繼續してゐる、實に紛爭解決を武力に訴へたこと自體が既に諸條約履行上の問題を提起せるもので事態は平和破壞の事實を構成せるものである、斯かる故に現下の情勢は戰爭を招來するものとして全國際團體の關心事となつてゐる、各國が安全保障のため平和制定に反對し戰爭防止に全力を擧ぐるは天賦の權利だ、アメリカの從來執りたる及び將來執るべき政策は大戰後各國間に生じたる協定に對するアメリカの解釋に嚴格に從つたものである、アメリカは日本が未だ強大となる以前に於て現にアメリカが支那に對し執りつつある方針で日本に臨んだ、アメリカは九ヶ國條約に於ける安全保障の正當なる權利を無視する如きは調印國の東洋利を犯すものなるを信ぜざるを得ぬ

漢口で不法課稅 邦商は默殺 成行き注目さる

【漢口十九日發電通】漢口特別區監察長は十八日佛國租界及び第一第三特別區內の外人商社に對し突如營業稅徵收の通告を發した、この不法課稅に對し我租界內の邦商は默殺の態度を執つてゐるが、警察局側では徵收に應ぜぬものは一切の保護を與へぬと稱して居り成行注目されてゐる

ルーズベルト氏壓倒的優勢 大統領摸擬投票で

【ニューヨーク十八日發電通】アメリカ大統領選擧を二週後に控へ十八日リテラリー・ダイヂェスト誌が發表した全米四十八州摸擬投票の結果は左の通りでルーズベルト氏が壓倒的優勢を示してゐる

一、四七三、四四六票五六 ルーズベルト(民主黨)
九七三、三六七票三七 フーバー(共和黨)
一二七、二三五票四八 トマス(社會黨)

地方學校の衞生講習會 京都、福岡、盛岡で

文部省では兒童の保健、衞生、營養の三方面から每年各地に於て地方學校衞生會議を開催し、着々と其の實效を擧げつつあり、昨年も北海道、仙臺、新潟、金澤、大阪、熊本の六ケ所に於て開かれたのであるが、本年は全國的に學校給食が實施されるに至つたので、その實施方法竝に指導方針について趣旨の普及徹底を期する事となり、先づ京都、福岡、盛岡の三ケ所に於て左記の通り地方學校衞生講習會を開催する事となつた

◇京都帝國大學
一、會場—京都帝國大學醫學部講堂
一、會期—十一月十六日より同十九日に至る四日間
一、講習員の資格及定員—小學校長、衞生主任の訓導、學校看護婦、凡そ二百五十名
一、講習學科及講師
イ、學校給食の實施竝學校衞生施設の一般　文部省學校衞生官 大西永次郎
ロ、虛弱兒童の養護　學校衞生技師 小林 [illegible]
ハ、學校衞生概論　京都帝國大學教授 醫學博士 戶田 正三
ニ、榮養施設特に學齡期の榮養に就て　京都帝大講師 醫學博士 家原 [illegible]
ホ、小學校建築設備衞生施設の服裝に就て　京都帝大教授 醫學博士 戶田 正三　同 大谷佐重郞　同 吉田 房雄
ヘ、學童の體育運動に就て　京都帝大講師 醫學博士 荻川 久吾
ト、學童に頻發する疾病に就て　同 福島 [illegible]

◇九州帝國大學
一、會場—九州帝國大學講堂
一、會期—十一月十九日より同二十二日に至る四日間
一、講習員の資格及定員—前項に同じ
一、講習科目及講師
イ、學校給食の實施竝學校衞生施設の一般　文部省學校衞生官 大西永次郎
ロ、未定　學校衞生技師 松本 [illegible]
ハ、日光の衞生　九州帝大教授 醫學博士 大平 得三
ニ、スポーツによる運動器官の障害　同 紳中 正一
ホ、學童に起り易き二三疾患特にその運動との關係　同 金子 [illegible]
ヘ、學校傳染病の豫防　同 [illegible]
ト、[illegible]眼科學の一端　同 [illegible]

◇岩手縣女子師範
一、會場—同講堂
一、會期—十月二十五日より同二十八日に至る四日間
一、講習員の資格及定員—前項に同じ
一、講習科目及講師
イ、學校給食の實施竝學校衞生施設の一般　大西永次郎
ロ、衞生教育　東北帝大教授 醫學博士 近藤 正二
ハ、學校看護婦の衞生指導　同 醫學博士 菅木 [illegible]
ニ、運動衞生　同 鈴木 [illegible]
ホ、學校衞生施設　同 中野 [illegible]
ヘ、教室內傳染病の豫防　同 秋葉 [illegible]
一、研究協議會
なほ近く福和に於ても同樣地方學校衞生講習會を開催される事になつてゐると

屏東の農事講習發會式

屏東郡下街庄民四十名に對する農事講習發會式は會場である州立農事試驗場で十七日午前十一時擧行、知事代理の安達地方課長や武田郡守、福川農校長、屏東街長、屏東試驗場長、潮州郡守各街庄長、屏山郡庶務課長等臨席講習會員の氏名報告があり知事代理の訓示、米澤郡庶務課長の祝辭、講習生總代の答辭で正午式を閉ぢた、講習期間は一週間である

十月中の原料糖賣買値段

【東京十九日發電通】糖業聯合會では十九日の協議會で十月中の原料糖賣買値段を一ピクルに就き二十五錢下げの十一圓二十五錢と決定した

小濱內務局長 內地朝鮮出張

小濱內務局長は地方制度その他視察のため來る二十一日基隆出帆の朝日丸にて內地及び朝鮮視察の途に上ることとなつた、矢野事務官が隨行する

吉岡海軍燃料廠長けふ來臺

吉岡海軍燃料廠長一行は二十日基隆入港の瑞穗丸にて來臺[illegible]

成績のよい ルンペン移民團(1) 一日の食費十錢

奉天にて 小澄生

滿蒙の天地を開拓せんとする移民團は工作班上にある滿洲國を築いて惱られてゐる、治安維持も軍隊の努力によつて漸次確保されて行く。飛でしない王道樂土は蒙苦な開拓者の出現を待つてゐるのだ—
◇
開拓者と陸軍省が本國を入れた佳木斯の武裝移民團五百名は去る十日現地(吉林省依蘭東南方八里)へ意氣揚々と出發した、之までに內地各方面から溜々しい理想を抱いて渡滿した移民團は相當多いものだつたが、北大營の國民高等學校以外に、少くとも見込みのついたといふ移民團は未だ聞かぬ。何故か……無論滿洲の地は、內地と地質に於て相違あるために日本人の農民には向かない條件があら、然し、百姓になんの經驗もない人達が自然滿洲に現ぱれて、而も準備足らずで、先づ成功の希望に踏み出してゐる奇蹟な集團がある。それは[illegible]移民團の團體[illegible]。「我々は滿洲の人柱となるのだ。死んでも內地へは歸らぬ」と悲壯な決意の下に去る六月東京を出發して、[illegible]のスタートを切つた、所謂天理教と[illegible]出身のルンペン移民團だ
◇
一行三十七名は同月二十六日大連に上陸すると共に、[illegible]、關東州內金州の南方一里の南山の東麓大房身に於て、更生の意氣に燃える一行は直ちに[illegible]水田約七反步、大根畑約三町步、[illegible]一町步、甘藷五反步、[illegible]五町步、白菜一反步、ネラ三反步、大豆二町步、[illegible]二反步、計約十五町八反の耕作を終へて移民團の第一歩を擧げてゐるのであ る、そして一行は[illegible]
◇
一行が六日に[illegible]所謂[illegible]生活を[illegible]
[illegible]

シナチク

世界的の大バクチの一つは米國の大統領選擧で[illegible]ルーズベルトかが[illegible]フーバー[illegible]ルーズベルトの名は忘れられない[illegible]日本に取つても亦大きなバクチに相當すると言はれてゐる。

人事

▲赤石定藏氏 二十日基隆着の瑞穗丸にて來臺する
▲中辻喜次郎氏 二十日內地より歸臺する

蓬萊丸より(來航)

[illegible]

物品購買公告 總督官房會計課

洋酒專門 伊田商店

嘉義名產推奬 [illegible]

臺南辯護士會 [illegible]

辯護士 松田宏一
辯護士 佐藤三之助
辯護士 法學士 中山幸一
辯護士 大橋與四郎
辯護士 法學士 安里積千代
辯護士 井戶誠
辯護士 川村鋼永吉

新しく寫眞材料屋が生れました開業御披露の爲左記の期間割引致します
本月より十日間 寫眞材料定價の一割引 及附屬品定價の一割引 現像燒付定價の半額
ミクニ寫眞材料店 臺北市榮町三丁目

十年間保險付 金剛式黑板 水拭萬年黑板
商號 金剛 坂本[illegible] 金剛塗黑板製作所

麻生、龜井氏調停の土地問題は廿四日判決
臺糖との和解交渉は困難か

【臺北電話】過般來臺した大衆黨の麻生久、龜井貫一郎氏は[illegible]

決審

となつて被告側は東京より[illegible]

全島水利事務協議會出席者
來賓共百五十名に達す
散會後、二班に分れ視察

【臺南電話】既報臺南州で行はれる事となつた全島水利事務協議會は[illegible]

臺中州警務部で宿舍を建築
共濟會より六萬圓借受け

【臺中電話】臺中州警務部では職員の宿舍に不足を告げつゝあるので[illegible]

臺中署新築で署長官舍移轉
末廣町元陸軍用地跡に

【臺中電話】去る大正十年地方制度改正以來臺中警察署は臺中州廳の一部に假住居をしてゐるが[illegible]

移轉も出來る段取である

[illegible]

嘉南大圳實行組合聯合會總會開催

【臺南電話】嘉南大圳實行組合聯合會では十九日午前九時より[illegible]左の三附議事項につき打合せを行つた

一、小水路の維持に關する件

二、水稻作付地の裏作利用に關する件

三、米、甘蔗、雜作の早、晩に關する件

員林郡聯合體育會
盛況裡に終了

[illegible]

一、優勝旗授與優勝者

1 男子兒童 員林郡

2 女子兒童 員林郡

3 一般 永靖郡

二、優勝杯授與(八〇〇米繼走)

1 男子兒童 坡心郡

2 一般 員林郡

神田校長遺骨鄉里へ

【臺南電話】臺南市[illegible]小學校長[illegible]

○●○吉野村民は▲△▲ 何故直訴したか▲△▲
どうしても救はれぬ 二十六戸の運命
遂に土地處分の外なきか! NO3

[illegible]

農業監視員袋叩さる

【臺南電話】[illegible]

豚、食用鳩、兎の飼養を奬勵
高雄州農會で內地より移入
試驗的に

【高雄電話】高雄州農會の畜産事業は年々改良の實をあげつゝあるが當局では更に[illegible]

和田畫伯高雄より來南

【臺南電話】來臺中の和田[illegible]畫伯は二十二日午後五時十五分[illegible]

高雄丸の漁場調査

[illegible]

新竹州で乙種農學校新設
西村教育課長が內地視察す

新竹州にては八年度新規事業として乙種農業學校を新設すべく西村教育課長を出張させ內地各方面の[illegible]

校長

[illegible]

茶雅寮市場近く開場す
高雄市直營の下に

【高雄電話】高雄市茶雅寮市場は[illegible]

新竹州下の射撃會

[illegible]

長仁丸がはじめて花蓮港へ入港

【花蓮港電話】[illegible]

新しい[illegible]

[illegible]

佳冬庄長の就任祝賀會

【屏東電話】[illegible]

鹽水信組總會

[illegible]

雌雄各[illegible]

[illegible]

變態醫者が美少年に迷ひ
慰藉料三百五十圓投出す

【嘉義電話】[illegible]

高雄驛作業組合 書記留置さる
苦力賃數千圓横領か

【高雄電話】高雄驛作業組合書記[illegible]

癩病防遏表彰
高雄州で計畫

[illegible]

軌道車に觸れ幼兒負傷

【高雄電話】[illegible]

屏東農生徒の修學旅行

[illegible]

臺中陸軍墓地 供養式次

[illegible]

動物學會會員嘉義觀察日程

[illegible]

阿里山三八號隧道が崩潰す

[illegible]

高雄市田町 町會設立

[illegible]

高雄市の農事指導會
十八日開催

[illegible]

臺大農林專門部生徒が吉野村視察

【花蓮港電話】[illegible]

花蓮港街黒金町の祭典賣出し
廿一日から

【花蓮港電話】[illegible]

宜蘭の『音樂の夕』盛況

【宜蘭電話】[illegible]

臺中神社の寶物庫落成

[illegible]

宜蘭消防組の慰安會
街民有志が

【宜蘭電話】[illegible]

花蓮港の樽酒註文
昨年の約二倍

【花蓮港電話】[illegible]

新壯丁團に 松村署長訓示

【臺中電話】[illegible]

沼川憲兵隊長 花蓮港視察

【花蓮港電話】[illegible]

家族慰安活動寫眞

【宜蘭電話】[illegible]

新竹

山火事

[illegible]

小兒重傷

[illegible]

列車の下敷

[illegible]

選手銓衡

[illegible]

慰問袋領收內譯(二)

[illegible]

研究社 英語通信講座

英語を知る者の強味!

毎月壹圓 ・本二冊配・

內容見本進呈

研究社通信學部

毛皮高價買入

●頭痛にノーシン●

淋病 治療と性病豫防に絶對權威

プラオンチン ケンゴール

日東藥化學研究所

ラヂオ欄

今日の番組

J・F・A・K 十月二十日(木)

午前の部

【六・三〇】朝の修養▼ラヂオ體操▼今日のお天氣▼お知らせ(臺北測候所發表)
【八・〇〇】家庭料理獻立(臺南のみ)
【九・〇〇】家庭百科問答▽再び眠の垂涎を消す方法▽パナマ帽のしまひ方▽鼠を奇麗にする方法
【一〇・〇】經濟市況(臺北、臺南市況)▽時報、氣象通報
【一一・〇〇】日用品小賣物價(臺北、臺南市場發表)

午後の部

【〇・〇】【〇・二〇】放送局報、ニュース、晝間娛樂時間(レコード演奏)
琴と尺八 一、琴三重奏「ソン花園(?)」(夜明しげる作詞、宮城道雄作曲)(ロ)「秋の波と花と」(同右)、琴宮城道雄、同上野照子、尺八吉田晴風作曲)唄及琴宮城道雄
【一二・五九】正午の時報▽氣象通報(臺北のみ)臺北測候所發表
【一・〇〇】氣象通報(臺南のみ)(臺南測候所發表)
【一・二五】東京六大學野球リーグ戰狀況(東京)東京明治神宮外苑球場より(後編)
【五・〇〇】子供の時間(大阪)「未定」
【五・二〇】子供の新聞(東京)
【五・二五】趣味講座(臺北)「未定」
【五・五五】カレント・トピックス(東京)(ハロルド・パーマー)
【六・〇〇】子供の時間(臺北のみ)幼年童話渡邊香子
【六・〇〇】子供の時間(臺南のみ)ハーモニカと口笛獨奏(イ)勇敢なる水兵(ロ)支那の想ひ出(ハ)新婚と曲二、口笛獨奏川村浩二(モンパバの獨奏曲)

夜間の部

【六・三〇】講演(東京)「未定」
【七・〇〇】長唄(東京)「綱館」吉住小三郎外研精會社中
【七・三〇】うた澤(東京)(臺北のみ)「未定」
【七・三〇】謠曲(臺南のみ)後寛 佐藤銀四郎、郡山深尺八(成宮欣山外一人)うた澤(北園銀花)
【七・五〇】未定(東京)(臺北のみ)
【八・三〇】浪花節(臺北)(鈴ブドー酒レッキス本舖近藤利兵衞商店提供)孝子音吉譽の網東家鶴燕
【九・〇〇】連續浪花節(鈴ブドー酒レッキス本舖近藤利兵衞商店提供)後咲梅名の梅ケ香(安中三郎)第四席安中義民傳の卷 東家鶴燕
【九・三〇】時報、氣象通報(臺北測候所發表)放送局報、ニュース(臺北のみ)臺南新報ニュース(臺南のみ)公示事項、告知事項、明日のプログラム發表

孝子音吉譽の網

(鈴ブドー酒レッキス本舖近藤利兵衞商店提供)【午後八時三十八分】(臺北) 東家鶴燕

大阪を少し離れた漁師町に、儀所者の親父嘉右衞門、娘の音吉、或る夜の嵐、折からの奇しき縁について淀川べりは漁の音、親父を連れ出して、その謎に孝子大難を見し、事によつて、一時に評判となり、後には浪花三俠客の一人「たが仙の音吉」と名前を擧げる孝子音吉出世の一節

連續浪花節(第四席) 後咲梅名の梅ケ香

―安中義民傳の卷―

【午後九時】(鈴ブドー酒レッキス本舖近藤利兵衞商店提供) 東家鶴燕

安中の城下にあつた頃、土地にかくれ名物饅頭を賣り出して、うまいのと商賣熱心と親孝行で大に名を擧げたが、城主板倉侯の家老尾崎眞右衞門の娘さわが、卯三郎に懸想する、身元の如何によつては、といふ事になつて卯三郎の身元を調べると、父は元は武士、孫見なる卯三郎と分るさてこれが第七の幹三郎の長心が近藤近在の窮民の難渋の苦しみを救ふといふ形になる一席である

法律常識講座(臺北)

【午後五時二十五分】

社會生活と法律

―第一講― ◇古屋貞雄◇

今晩から五回にわたつて古屋先生の通俗的な法律常識講座が開講される。これは我々が日常の生活にて必ず直面する種々の法律上の問題に就いて、極めて通俗的に、うんとやさしく、誰にでも分る様に解説されるもので、今晩の第一講の題は未定であるが、次回は二十二日、二十五日、二十七日、二十九日の豫定である、今日の話は「經濟」で資本主義と法律及法律とについて論ぜられる

晝間娛樂時間

【午後零時二十分】(臺北)

▼琴と尺八
一、琴三重奏 琴 宮城道雄 同 上野照子 唄 牧瀬數江 同 吉良喜子
イ、花園 (夜明しげる作詞 宮城道雄作曲)
野邊に山邊に 色さまざまの 花咲き出でし 一夜の中に 蝶の舞ひ來て この園に 咲くや散るや 戲れ遊ぶ 蝶のごと
ロ、「秋の波と花と」(同右)
身も輕々と 踊れ踊れ よろこび胸に 溢れては 溢れ出でて笑となる 笑となる よ、笑の海には よろこびの波 波ぞ 手足あげて をどりをどる (以下略)
二、尺八獨奏「神曲」(吉田晴風作曲)
吉田晴風氏の獨奏で、吉田氏の代表作である
三、秋の調べ(宮城道雄作曲)
秋にふさはしき宮城道雄氏の傑作で、宮城氏が唄と琴、尺八は吉田晴風氏である

▲幼年童話(臺北のみ)

【午後六時より】 渡邊香子

今晩のおちいさい方のお時間は、殊にちいさい方、幼稚園に行つてゐる方や、尋常一二年生位の方のための、やさしい童話で、渡邊さんは今まで度々幼年童話を放送されてゐられます。話はまだきまつて居りませんが、二つ或いは三つ位お話しになる筈であります

ハーモニカと口笛獨奏

―臺南のみ―(午後六時より)

ハーモニカ 高木悅二
口笛 川村浩二

最初に高木悅二氏のハーモニカ獨奏です。曲目は三つ
イ、勇敢なる水兵
片岡正太郎氏の編曲で、昔から上くうたはれた勇ましい歌です
ロ、支那の想出
吉田振作氏の編曲、いろいろの支那の旋律が面白く編まれて居ります。
ハ、新婚と曲
モールスの作曲を吉田東所氏が編曲した描寫曲で、面白いおかしいメロディーが鮭の泣き聲まで入つて愉快なものです
二、口笛獨奏 川村浩二
伴奏を高木氏がハーモニカでします。最近流行のモンパバの獨奏曲です

名人小三郎師の ながうた「綱館」

―東京―【後七時】

―研精會一門と共に―

我國長唄界の第一人者小三郎師の出演、同氏の主宰する研精會の社中が三味線その他にて賑やかに唄ふ「綱館」明治二年杵屋彌介(?)改作の撥の別五郎(初名十一代目杵屋六左衞門)の曲にかかるもの、此の曲はずつと昔天保元年「兵四阿屋造」といふ名題で出たのが最初でその後埋れてゐたのを第三十三年後に拾ひ出されて、詞章を少なし訂正して再び出したものが此の曲である。長唄としては節がよく通つてゐる上に、淨瑠璃がかつた箇所の多い唄である

▼東京六大學野球リーグ戰狀況

―後編―

〜東京明治神宮外苑野球場より中繼〜

家庭料理獻立

【午前十時十分】(臺北) 伊地知たづ發表

▼烏賊と野菜の葛煮
烏賊 一尾 葱 三本
椎茸 五枚 筍 一本
吉良生姜、油、片栗粉、鹽、酒、醬油、味の素

家庭百科問答

【午前九時三十分】(臺北)
△再び眠の垂涎を消す方法
△パナマ帽のしまひ方
△鼠をきれいにする方法

カレント・トピックス(東京)

【午後五時五十五分】
―英語のニュース―
◇…ハロルド・パーマー…◇

野球の中繼(東京)

【午後一時二十五分】

新興滿洲國の思想的基礎

常田力

滿洲國の成立は他の諸國の成立とは少しく異なつた點がある。歐洲には一國が分裂して新たなる國が成立した例は屢々歷史に散見するが、その多くの場合に分裂した國は本國に敵對行爲を採つてゐる。本國がこれを承認すること不可能なるか、或ひは容認ならざる場合に、一國としての獨立可能性が發生する

◇

歐米人はもと闘爭性が旺である彼等上古の歷史は遊牧と闘爭であつた、その故合するにも別れるにも、闘爭ずこれに伴ふはいふまでもなく、殊にも闘爭と纔遂き闘鬪宗教にさへも闘爭が行はれてゐたは、絕えてのことに平和破壞の危險が潛んでゐることを示すものである。それ故平和が常に唱へらるる時は、戰爭開始の危險の急々切迫した時である。滿洲國が支那と殆ど敵對行爲をなさずして、獨立を完成したことは、其の手段上重大なる意義があるやうに、彼等が想ふのは、その本性から觀て無理のない所である

◇

この點は充分說明してその意を盡かねばならぬ他の一は苟くも一兵一卒を失ひ鮮血を流すの戰爭をなし、それに勝利を得た以上、必ず何物か獲物を收めねばならぬといふのが、彼等の常識であり心理である。滿洲事變のために日本は大なる損害をうけた、然しこれに對し何等新なる獲物を收めんとする樣子がない、その望む所は從來の既得權益の確保であり、將來の極東平和である。彼等から觀れば日本は勝利の當然の權利を放棄しつつあるかに見ゆる

◇

日本は歐米の明るく侵略國ではない自國に不必要なる領土を竊占して他國民の發展を阻害せんとするが如きは、全く我大和民族の本性に反する、此點は歐米が未だに理解出來ない、從つて滿洲國の獨立と否とに拘らず、滿洲事變の結果日本は極東に於て何等か重大の要求をなすべしと思惟した、昨年九月三十日の決議も十三對一も本年三月聯盟總會の決議もみなこの疑念と恐怖とを前提としてなされたものである。支那外交家は巧みにこの機微をよく洞察し、日本の滿洲事變に於ける自衞行動を日本多年の野心たる武力侵略の擧手なりと宣傳した

◇

滿洲國を以て王族平和の樂土たらしめんことは、滿洲國建成の宣言に大聲疾呼したる所でこの精神は國家存立の基本たると共に、永久に存續すべき魂である、支那民族は最近闘爭相次ぎ、そこへ破壞的共產思想が滲透し歷史上曾てなき暗黑の狀態に陷つてゐる。然し支那人は歐洲人に比ぶれば遙に平和的である。堯舜周公の時代の如きは、歐米の歷史には絕無である。而して今や支那民衆はこの打ち續く慘禍から逃れんと欲するも能はずといふ憐れむべき狀勢にある、偶々滿洲國の獨立は支那民族の胸底に潛む眞の欲求を具現すべき機會に逢着したのである、光は東より、東三省の空には平和の曙光燦々として輝いてゐる、この光はやがて四百餘州全土を照らし暗夜に蠢めく惡鬼羅刹を一掃し、四億の民衆をして王道大道に甦らしめんことは、滿洲建國の思想的基礎であると共に、また實に我日東帝國の唯一の希望であらねばならぬ。

隨想 秋

阿部知二

都會が美しいとおもはれることがあるとすれば、それは秋にちがひない、すんだ光のなかに建物も人も白く洗はれたやうに明確な輪廓を浮かび上らせる、また、時として、うすい青色の霧が街の中をながれてゐるときなど都會は田園のやうに、また海のやうに美しい、私は昨日港の建物をみてのかへりに、夕方の空の大きな建物の間に月が出てゐるのを、何かのをりに氣が付いた、秋がきて私の肩をそつとたたいてゐるやうな氣がした、街路には、日に燒けて、熟れた葡萄のやうな顔をした青年や少女があるいてゐるが、かれ等は月の出たことを知らない、しかし、彼等が笑つたり話したりするときその眞白な齒が、ことさらに白々と光るのは、おそらく月の光りがうつつてゐるためであつたらう

□

去年の秋の暮であつたらう、雜沓した銀座の灯の巾を、のそのそと一群の山男のやうな朝鮮人があるいてゐた、彼等は熊のであらうか、獺のであらうか、光澤のいい大きな毛皮をみな肩に背負つて彷徨りあるいてゐた、あまりにもいちじるしい文明と原始の對照であつた、私はふと、地理の書でよんだ「火田の民」といふことを想ひ出した、朝鮮の奧地には、火田の民といふものが多くゐて山林を燒き拂ひその跡にきはめて粗雜に耕し、あわ、蕎麥、大豆、きび、とうもろこし、ひえ、馬鈴薯、麻等を栽培し、あるひは狩獵し諸國を水草を逐つて流浪する、この厄介な治外の人が、處女地に放縱するものは、非常に興味の高いものであるといふやうなことがかいてあつた、私は明るい燈のなかに、毛皮を背負つて歩きすぎる人々をながめて、何かなしに火田の民を聯想した、いかやうのない消れつな山氣が身に迫つて、身ぶるひが起つてきた

□

この夏の終りころ、Kと云ふ高原の避暑地に友だちを訪ねて行つた、ある夕方、そこに住んでゐた年取つた女の歌人をたづねた、蹄りに、暗いもみの林の中の、外人の部落をあるいた、友達はこの避暑地に日本人が住まないといふのは何でも昔鐵道がこの山地に通ずるときに、U峠の崖を削し、トンネルを掘つたときに多數の工夫が死んだ、その骨をこの邊に埋めてあるといふことだから―と敎へてくれた

□

暗い森の闇路に一軒のコテイジから燈が明々と流れてゐた、中にはかみえた、桃色のカアテンの間から一人の年取つた外人の老婦人がうつむいて編物をしてゐた、髪は白く、顔は赤々と血色よくかがやいてゐた、傍の花瓶には大きな向日葵の花が、燈をまともに受けて、まるで小さな太陽のやうに美しく照り映えてゐた、その下には、ほんとうに、古い骨が土に融けてゐるのであらうかと私は立ちどまつておもつてみた

□

オリムピックの映畫といふものを隨分みた、フオックスのも、パラマウントのも、東日のもみた、おそらくあんな嬉しいオリムピック競技はギリシア以來はじめてであつたらうし、又世界のこの有様では、今後もさう滅多にはあるまい、十萬に近い群集の浪と歡呼、ぐんぐん若者の肉體の跳躍――さういつたものは何度みても懷かしいものであつた、たしかに全世界の祝祭といふ光景であつた、ところが、東日のニュースの最後の閉會式の場面にほんの一端の例に、例の「ム・ムーニを救へ」といふ小旗をもつたソシアリストの一群がスタンドの前を歩くのが瞬間映つて、そして消えた、熱狂的な祝祭とその行列の對照は、數々の興奮をあたへる場面とはちがつた意味の印象の深いものであつた、ある日、そんなことを話しながら街をあるいてゐると、大學で一緒に卒業した友人から日本のある左翼運動者の減刑運動の署名をつきつけられた、アメリカも日本も、同じやうなことが同じやうな時におこつてゐるものだとおもつた

□

近頃に讀んだ本の中では、三木淸氏が大部前に岩波から出版された「パスカルにかける人間の研究」といふ本が一番感銘が深かつた。明せきにわれわれ若い時代への案内にもわかるやうに書いてあつた、秋のはじめに、實にいい本を讀んだものだとおもつた(完)

臺日歌壇

安成二郎選

臺北 柴田 悟郎

貢楊の花再び咲きし溫泉の宿の月夜をしげく蟲の鳴きつつ
山に來てわれは飛く飴水の幽にしみとほりつめたかりけり
我が心いまは全く山の氣にしみじみひたる鳥啼きやまず
かくまでに小鳥の聲はさえすみてきこゆるものか霧立つ山に
芽の葉の露にぬれつつ登り來しわが眼の前に啼く山鳥は
陽の透る硏山小徑栗鼠の兒はたはむれあそぶ芽むらの中

產業組合功勞者事績（三）

有限責任新竹信用組合 專務理事 清水源次郎

本組合は明治四十三年一月新竹街在住の內地人四十八名に依り新竹貯金會を組織したるに端を發し其の後大正二年九月此の會の組織を變更し以て現在の有限責任新竹信用組合の設立を見るに至りたるものにして

設立當 時は組合員僅に四十三名に過ぎざる極めて小規模の組合なりしが歷代の組合長及役職員諸氏の努力にして堅實なる經營に依り漸次發達を來したるも唯組織に推移せりと評する程度にて經營上特に推稱すべき點なかりしが大正十年氏が推されて專務理事に就任するや常に克く組合員を指導し其の職に據はるや一切の情實を斥けて飽く迄公平無私、斷乎として終始一貫せる主義方針の下に徹頭徹尾己事にして倦まざる不撓不屈の態度に組合員に多大の

刺戟と 感動とを與へ其の卓越せる識見、手腕、力量は愈々一般の認むる所となり組合の業績大に見るべきものあるに至り大正十五年臺灣產業組合協會會頭より優良產業組合として表彰せられたり、氏は資性剛直にして正義の念強く殊に多年警察界に職を奉じ一巡查より身を起し、元新竹廳の刑事課長に累進し今尚新竹州評議會員の要職に在る程の立志傳中の人物だけに能く人情の機微を察ち殊に

規律的 統制の才に至つては多年の試練に依り幾多の經驗を有つ權威者だけに此の種、精神的團體の指導者としては適材適所と謂ふを得べく專務理事に就任するに當り之を最後の御奉公として社會公共の爲に掉尾の一戰を試むべく起ちたるだけに組合施設に於て將又其の運用に於て直情徑行的の決斷振りは益々として經營の上に顯はれ名理事として名聲を博する所以のものは茲に氏の如き苦勞人にして始めて爲し得る所にして一片の理論や學說を以て容易に模倣し得ざる所なり、殊に氏は專務理事に就任するや益々組合經營の振興改善に邁進し大正十四年

出資を 半減して小資者の組合加入を容易ならしめ又產業組合教育は個人教育にあらざれば其の目的を達し難しとして資金融通の際其他組合員と直接の機會ある每に組合精神の鼓吹に努め以て氏獨特の產業組合の教育振りを發揮し尚又氏は產業組合と社會施設に關し不斷の研究を積み組合に敬老會を設けて金額五百圓內外の範圍に於て每年七十歲以上の高齡者に金品を贈呈し其の健康長壽を祝福すると共に

長老に 對する敬愛の念を涵養し延いて家庭の平和化に資し或は每年三百圓內外の育英資金を支出して兒童の產業組合精神の喚起に努め更に救濟資金の制度を設け貧困者の學資金補助を目論見つゝある等各種の社會的施設に就て日夜心膽を碎くは蓋し氏の如き名利に恬淡にして誠實なる士にして初めて爲すことを得べし、以上の如く氏の組合經營振りは謹直公正にして其の施設計畫は常に人の意表に出て其の組合が今日

屈指の 優良組合として全臺產業組合協會會頭より表彰の榮譽を擔ひたるも決して偶然にあらず要に氏は過去十有餘年の間組合經營に孜々として倦まざる不斷の努力を拂ひ齡、古稀に垂んとするも今尚矍鑠として壯者を凌ぐ慨ゆる如き組合愛の熱情に加ふるに、手腕識見を兼備するは本島產業組合界稀に見る人物にして產業組合功勞者として表彰の價値充分なりと認む（新竹州淸水源次郎氏）

日滿經濟統制と同種產業の衝突

硫安、石炭、鋼材其他に その兆候が現はる

【大阪十九日發本社特電】日滿に於ける同種產業の衝突を避けるために政府は兩國產業をブロックとすることに定め此の既定方針に從ひ貿易局を中心に日滿經濟統制委員會を設置し各產業別に具體的統制方法を審議する筈であるが次に示す產業に於ては其方針をそのまゝ適用し得ざる情勢に內地の同種產業と衝突の兆候を示してゐる

一、硫安 滿洲は明年以降二ケ年間の新設計畫にて硫安十七萬噸生產を計畫し內地側は現在供給過剩の狀態にあるため反對してゐるが問題として

一、石炭 石炭聯合會と撫順炭との間に共販會社設立が計畫されてゐるが撫順炭としては支那向け輸出杜絕の結果勢ひ內地輸入に集注する必要があり從つて內地と協定する販賣統制には賛成なるも輸入數量に對し內地の減產率以上に制限されることを好まない

一、綿絲、木材、鹽

其他 について滿洲國內に於ける開設は將來の需要增加と新設工場の採算有利とを理由に計畫を進めてゐるが擴張の計畫は內地側によつて抑制されてゐる

一、鋼材 昭和製鋼所は明年度に於て手スケプル十萬噸シイト、バア十三萬噸小型鋼片十七萬噸計五十萬噸を生產する豫定であるが內地側鋼業者としては小型鋼片の供給は希望なるもシイト、バア其他に至つては內地にも增產計畫のあることを理由としてまだ本計畫を諒解してゐない

南部の餘剩を北部へ送電

集集變電所を經て 明年から二千キロ以上

臺灣電力會社で目下工事中の臺南州新化郡山上庄の發電所は明年三月中に竣功せしむる豫定で同時に臺南出張所の發電所からの送電線の架設も終了する筈である、しかるに日月潭の發電所は明後年に完成する豫定であるから山上庄の發電所や送電線の架設工事を急ぐ必要に迫られてゐない筈であるのに會社當局が工事を急いでゐるのは北部地方の電力が渴水期に不足を告げる狀態で松山發電所增設工事を斷行する場合は工費約五十萬圓を投ぜねばならない事情にあり而も南部地方の發電力と需要關係から見ると常に餘力を生じてゐるので差當り南部地方の餘剩電力を北部地方に送電することが經濟的でもあり電力の統制上合理的であるが現在の狀況では南部から直に北部に送電するに必要な電線の連絡線がないので日月潭發電所完成後の將來を考慮し山上庄に發電所を設けこれに發電し目下工事中の臺中州下集集變電所へ送り同所から更に北部へ送電せんとするもので會社としては電力の統制と合理化を狙した譯で南部の餘剩電力はかくして明年四月から北部地方へ二千キロ內外から必要に應じて五六千キロ程度の餘剩電力が送電される段取となつてゐる

水揚賃問題につき最後的通告

肥料、雜穀兩組合から 廿日正午迄に回答を求む

基隆港の水揚賃改正と之に伴ふ直取り噸數の引上げ及直取り手數料噸十錢徵收問題につき肥料移輸入組合とフスマ雜穀同業組合とは過般郵船に對し反對の意思を表明し之が緩和方につき回答を求むるところあつたが其後商船郵船から何等の回答がないのでフスマ雜穀組合では十八日夜江山樓にて臨時總會を開き交涉委員より該問題の經過報告をなした上協議の結果今一度交涉して最後の回答を求めその上にて對策を講ずることに決し肥料組合とも打合せの上十九日午前十一時肥料、フスマ雜穀組合の委員は商船會社基北出張所に於て商船郵船社の代表者と會見の結果二十日正午迄に何分の回答をされたきこと、若しそれまでに回答がなければ船會社に誠意なきものと認め兩組合に於て相當對策を講ずるであらうとの最後的通告をなし引取つたと

優秀船乘替と古船の處分

【大阪十九日發本社特電】船舶改善に伴ふ新造計畫は附帶條件に禍ひされ遲々としてゐるが之を機會として一部の船主間に優秀船乘替へや古船の整理が考慮せられ我國船主の內容に徐々變化を伴ひつゝあることは爭はれない、併し各船主とも古船の處分は行ふが何れも優秀乘替へ等の進出を前提として恰も待機の狀態にある

總商會に對する辰馬汽船の違約問題

懇談會にて要領を得ず 辰馬本社へ直談判

臺灣總商會では郵、商、辰馬三社協定による辰馬汽船の同會との既定契約不履行に對する善後策を立てる爲め辰馬汽船の代表者を招き十八日午後六時十分より江山樓に於て懇談會を開催した總商會側からは役員及び大荷主數名を併せて五十九名出席し、辰馬汽船側からは代理店たる丸一運送店主任吉原保男氏が出席した、總商會から懇談會開催前に開いた役員の打合せ會にて可決した

一、運賃値上げを認めるも、既締契約の契約期間昭和八年七月までは契約通り三割五分の割戾しを履行すること

二、契約期間中他社と協定をなした違約に對する違約金として三萬圓の賠償金を支拂ふこと（契約では五萬圓となつて居る）

三、右に應じない場合は斷乎たる處置をとり訴訟を提起すること

等三つの決議を懇談の話題として話を進めたが午後十一時半に至り何等纏まる所なく何等結論なしに散會した、總商會では右懇談會の效果なきに鑑み辰馬本社と直接交涉をなすことに決し、近日中右決議事項を內容證明にて西の宮辰馬汽船本社社長木村賢二氏宛に送つて其の回答を求め、回答の如何により最後手段として訴訟を提起すると意氣込んで居る

米專賣及統制案特別委員會開催

委員長は阪谷芳郎男

【大阪十九日發本社特電】本年四月名古屋で開催された二十五回米穀大會にて決議された米專賣及び統制案特別委員會設置は右委員會が該案に對する根本態度決定如何によつて利害相反する消費生產兩者の會員の正面衝突を惹起し會の分裂を見る懼れありとして決議に基く特別委員會設置は其後まだ成立せず北の間當事者は種々兩者に交涉の結果漸く諒解なり決議以來半年にして同特別調查委員會を設置するに到り來る二十一、二兩日東京會館に第一回委員會開催となつた、同會の調查事項は政策上米を國家の統制下に置き又はこれを專賣制とすることの可否を基礎とし委員長阪谷芳郎男、副委員長渡邊勘兵衛氏で二十二名の委員と二幹事からである

北投士林の米穀改善協議

石拔きを協議

昨秋に創設された北投士林米穀改善組合は十九日午後二時より組合員全部、北投、士林兩庄長、州及び檢查所の係員出席して米の石拔を中心に次の條項につき打合せをなした

一、石拔機購入の件
二、代金支拂方法の件
三、石拔米取引の件
四、石拔米の價格の件
五、組合費徵收の件
六、票箋作成の件
七、包入ビラ作成の件
八、產米改善宣傳實行方法の件

協議二時間位で大體の方針を可決し四時近くに散會し、引續き石拔機の實演があつた

晒粉減產率五割程度に緩和か

【大阪十九日發本社特電】晒粉聯合會では來る十九日丸ノ內工業クラブに於て總會を開き來月中の晒粉生產制限率につき協議する筈であるが現行減產率五割五分は五割程度に緩和すべしとする意見が擡頭し結局或る程度の減產緩和が實現するものと見られてゐる

玖馬の產糖制限

糖業者は二百七十萬噸を希望

【ハバナ（キューバ）十八日發聯合】玖馬大統領マカド氏は十九日一九三三年度產糖制限に關する法令に署名するものと見られてゐるが目下の情勢では銀行業者側は一九三三年度產糖を二百萬噸に制限する事を主張し之に對して產糖業者は二百七十萬噸を希望してゐる併し一般には玖馬は今夏オステンドに於ける國際砂糖會議に於て明年度產糖を二百萬噸に制限する事を事實上約束してゐるので今更之を回避する事は出來ないであらうと見てゐる

全購聯で計畫……肥料配給網の完成

進んで運送の直營まで

【大阪十九日發本社特電】我國の購入肥料の年額三百六十萬噸中その二割の七十二萬噸は

產業組合 によつて支配されその又半數の三十五萬噸が全國購買組合聯合會の配給となつてゐるが昭和十四年には全購聯は全需要の三割を支給する計畫を樹て產業組合五ケ年計畫により更にその實現を促進する筈でこれがため全購聯では肥料配合工場と共に肥料配給所を全國主要都市に設置し配給網を完備する方針で決定してゐる現在

肥料工場 は橫濱、尼崎、門司、伏木にあり今後東海道東北（又は北海道）に設置することになつて居り配給所は新潟及び鳥取縣境にあり此の外小搬出張所があるが最近秋田縣船川、山形縣酒田、靜岡縣清水、廣島縣尾の道等から頻りに工場又は配給所設置を要望してゐるので全購聯では特殊

補助を仰 ぎ協力これが實現を期してゐる一方全購聯に於ても縣內の配給完備に努力しつゝある所多く栃木、岡山等がそれである、更に全購聯では肥料の配給網を完成し更に進んで運送の直營にまで手を伸ばさんとして一大飛躍を企圖しつゝある

產業組合大會の光景 花蓮港高女講堂にて—平塚會頭の式辭朗讀

臺中米價（十九日）

蓬萊新米	六、二一圓
丸糯米	六、八〇圓
在來米	七、九〇圓
出來高蓬萊米	一四、〇七〇袋

青物卸相場表（十九日）

臺北市中央卸賣市場

[illegible]	[illegible]

東西南北

田村林學博士が世界的な鵝鑾鼻と新高阿里山がそれぞれ國立公園に指定されたと折紙をつけたタロコ峽、國立公園の候補地として花蓮港街民が頻りに推薦運動に努めてゐる大タロコの眞景を自然色引伸ばしの大寫眞で紹介すべく二十一、二、三の三日間本社樓上にて大タロコ寫眞展覽會が開かれる▲主催者は市內京町野山寫眞館だが花蓮港の勝地宣傳協會と東臺灣新報が後援することになり有意義な擧である▲內地では此の程十二ケ所の國立公園が決定した本島では大タロコと阿里山がその候補地となつてゐるが、臺灣の大タロコは少くとも朝鮮の金剛山に對立すべきもので總督府と採勝者が乘出し力瘤を入れるならば國立公園に指定される可能性は充分にある▲今度の寫眞展覽會で大タロコが廣く紹介されその眞價が認められると熱望も高まり花蓮港街民の熱望も遂して案外早く國立公園に指定されるかも知れない、同展覽會の成功を望んでやまない。

米況

臺米現物相場

南部一期在來米	五、三〇
北部一期蓬萊米	五、九三
中部一期蓬萊米	六、一八
南部一期丸糯米	五、四五
北部長糯米	六、七〇
[illegible]	五、六〇

正米市場

[illegible]	[illegible]

基隆在庫米（十九日朝現在）（正米市場調）

[illegible]	[illegible]

高雄在庫米（十九日朝現在）（正米市場調）

到着米 二十七車	一九、六〇二
合計	[illegible]

正米市況（後場）

[illegible]	[illegible]

蓬萊暴騰

在荷激減と期米反撥

[illegible]

商況（十九日）

[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪期米

[illegible]	[illegible]

東京期米

[illegible]	[illegible]

神戶期米

[illegible]	[illegible]

大阪正米市況

[illegible]

各地正米

[illegible]

堂島前場先限主な手筋

[illegible]

堂島前場先限兩建控除主なる手振

[illegible]

堂島兩建控除倭合

[illegible]

堂島米況前場

[illegible]

堂島米況後場

[illegible]

株式

大阪短期

[illegible]	[illegible]

大阪長期

[illegible]	[illegible]

東京短期

[illegible]	[illegible]

東京長期

[illegible]	[illegible]

穀肥

シカゴ小麥

[illegible]	[illegible]

神戶市中相場

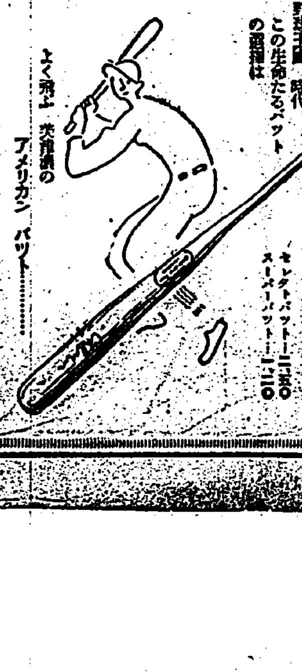
[illegible]	[illegible]

神戶豆粕

[illegible]	[illegible]

大連特產

[illegible]	[illegible]



ホームラン王 アメリカン バット
野球王國 現代 この生命たるバットの選擇は
よく飛ぶ 米國選手の アメリカン バット
定價 四円
TRADE MARK MIZUNO CO. LTD.
美津濃

不眠症 神經衰弱
催眠鎮靜劑 アダリン
獨逸バイエル製
BAYER
AD 187

セルロイド板各種 セルロイド各種 加工品製造
合名會社 成田商店セルロイド部

頭痛にパラチウム
新發見 昔は薄荷玉 今は斷然パラチウム
如何なる酷い頭痛でもケロリと治る
時代の要求? パラチウム!

曙光 (133)

生方敏郎作　中野修二畫

かすかひ（六）

「俺の姉さん、私のことを何かいつて？」

と、澄江は春田が突然で留守中に溜つてゐる書類などを、整理して居る傍に立つて訊いた。

「一月頃へ戻らして貰ひ度い。成る可く早く。と云つてるだよ」

春田は手を休めて顔を見せながら答へた。

「いやなこつた。誰が國へなんか戻るもんか！」

「此點は、澄子さんが僕に再三、頼んでゐるんだから。お前の勝手ばかし通すのもよくないだらう」

「ふん、姉さんは私がここへ來たんで、痴けてんさ」

「何うして？」

「自分で來たかつたんだもの。私なんかチャンと知つてますわよ」

「だつて、あの人は夙くに結婚して、大きな子供までゐるぢやないか」

「結婚する前の話しなのよ」

「僕の方はまだ學生時代ぢやないか？」

「その時分、あなたが兄さんのところへチョイ／＼來たからさ。誰だつて、娘は學生にはあこがれるわよ」

春田は、その時分の若を考へた。しかし、澄子のことで何もそんな深い印象はなかつた。一しよに遊んだこともあるにはあるが。

「何かいつてたでせう？ 私のことを」

「だから先刻から云つたらう。お前を一日國へ戻らしてくれつてこと」

「そんなことぢやない。私の惡口」

「お前の惡口？ そんなことを聞いても詮がありやしない。道理で不意に出會つたんだから」

「でも、此度私の惡口がいひたくつて、あなたを呼び止めたんですわ。姉さんたら、あんなつまらない男と結婚して、子供ばかりウジ／＼生み出して、自分が面白くない生活をしてるもんだから、私を見たつて羨ましがつて、惡口いひたがつてるんです」

「時に、お前の方は何うした？ 身體の工合は？」

春田はこないだ、上野公園で、澄江の逃げたことを思ひ出しだのだつた。

けれど澄江はあの時どちかひケロリとしてゐた。そして、

「威かしだつたんですの。あの翌日からありましたわ」

「さうか」

と、春田もそれですつかり安心した。彼はそのことは大丈夫とは思つてゐたが、萬一の場合を幾分懸念してゐたには違ひなかつた。然るに、今澄江の口から、有る可きものが有つたと聞いたのだから、急にほれ／＼した氣持になつた。

「だから、僕はそんなにお手輕に出來るものではないと云つたのさ」

「併し、この先きは、油斷がならないよ。多くの場合、子供の入るのは、結婚後三四ヶ月といふところだからな。たとへば正月か二月ころ結婚して、十一月ころ子供が生れるやうな例が一番多い。併し無論例外はいくらもあることだが」

「私子供なんかいやなこつたわ」

女は母となる義務はないといつた人があるけど、同感ですわ」

「母となる義務？ そりや義務ぢやあなく、生理的結果だらう。母になるのがいやなら、夫婦生活に入りさへしなけりやいいのさ。男はほしいし、子供はほしくない、なんてえのは、あんまり女の得手勝手だよ」

「ぢやあ、男は何うするの？ 男こそ性生活を享樂して置きながら、その結果の苦い果實は、みんな女にばかし拾はせるんだから、こんな得手勝手はありやしないと思ひますわ」

「そりや、男に責任はない。自然がさうしたんだから仕方がない」

さうは云つたが、春田は不自然ないろ／＼の方法を考へたのだつた。今から母に成り度くない、といふ澄江の希望は、單に澄江だけの新らしがりではなく、實際女が若々しく小綺麗にしてゐることが出來て、また男と一しよに、或は一人きりでも、自由に羽根を伸ばして遊び廻らうとするには、子供ほど邪魔物はない。

その十年ばかり以前から――明治時代の末期から、一方敎育界に良妻賢母主義が提唱されはじめて殆ど天下を風靡するの觀があつたにも拘らず、若い女性たちが母になるのを嫌がり出したのも、また實にその頃からだつた。だが、春田の方は、他の男性たちと同様、父となることを、決して嫌がつてゐるのではなかつたが、澄江に引づられて、不自然な方法を考へたにすぎなかつた。

ステージ漫談

音樂家　柴田秀子

ステージに立つ時の氣持は嬉しいと云ふのでもなく、決して辛いものではなく、妙な興奮を感じるものです。幸ひ私は初演の時に隨分緊張しましたが、上つて了ふ事もなく濟みました。上野の音樂學校の講堂に一杯に詰めてゐる人達の中から、母と妹がとても心配さうな、泣き出しさうな顔をして、首が折れる程長く延ばして居るのさへ見えました。親類の者はすつかり傍へ向き込んで私と一緒になつて聞いてゐました。それは後で話したら、先輩の方々から（壇の上から人の顔が見えるなんて、度胸がすわつてる）と云はれました

○―○

何でも初演奏の時に上る癖がつくと中々取れないものださうです。如何かして落ち着きたいと開演前に、無暗矢鱈に其處ら中を歩き廻る方が有ります。或方は盛んに咳ばらひを續けたり、深呼吸をやつたり、手に香水をかぶつたり、それでも興奮の餘りに顔がくる／＼廻つたり、一つの顔が三つ四つに見えると云ふ方があります。男の方が初演奏の時にすつかり上つて仕舞ひ、兩方のズボンが電氣仕掛の人形の様にブル／＼震へて、見てゐられない程氣の毒だつたと聞いた事もありました。

○―○

その第一歩は恐怖か愉快か、無事に通過したお陰で、まだステージに立つて、カット嗅したり、慄える味を知りません。それだけは誰かにありがたい事だと思つてゐます。難苦らして聲樂家としてステージに立つ時何よりも一番困るのは風邪を引いたり、咽喉を痛めた時の苦です。妙なもので何時何日に演奏會があるから風邪を引くまいと緊張したり、用心する時却つて喉は弱いものです。聽衆など全く立たなくて、ドクでも演き通してゐる様なサビ付いた自分の聲、演奏を聞へた氣持は實に嫌なものです

○―○

同じ藝術の中でも小說や戲曲家繪畫、彫刻は作品があとに殘つた餘りもあり、讀んでよく味はつて貰ふ餘裕がありますが、音樂家には音樂の外に助ける、表情なり態度で語る時がありますが、音樂ばかりは其當日の極めて敏感な聲に訴へるばかりですから、未完成の自信の無いものを唄ふ時位、腹立しい嫌な氣分がするものはありません。でもよくしたもので舞臺の間には唄ふ聲は大きくたちます。只ピヤニシモが綺麗に行かないとか、一際に音聲を張らうとする時、若聲が破れる樣な事が有つてはと思はねばなりません。さうした藝術と心臓を混切る樣に恐い嫌な實習や、より以上のアンコール迄有る時がままあります。つまり幕より一層感銘になつてゐるのかも知れません。それを繁く人の腕にこたへて斯うした結果をみるのでせう。すると（先づ無難でよかつた）と思ふより何となく淋しい氣持がします。假奏者との意氣がピタリ合はなかつたり、オーケストラが揃はない時等、矢張り貧弱な拍手に迎へられる場合の、くすぐつたい様は淋しい

――これはまだ私が上野の音樂學校を卒立つて間もない時分の、我ながら可愛い思ひ出です。演奏前には酸分食事を控へて置かないと下腹に重味を感じて、聲を出す爲充分に力を入れにくくなります。それでまだ惜しいと思ふ時分發を置いて、食事へ臨みます。そして自分の演奏が無事に終りますと、急にグーグーお腹の蟲がせがみ始めます

○―○

大分堺に落ちた懺想談になりました。此處で一寸失敗談を。

いつも私はステージに立つてのおじぎが非常だと云はれます（但し自分ではそんな積もりではないのですが）それで何時の事でしたか今日こそはと低頭、丁寧にころみたのです。所が生憎ステージ一杯に五十人近くもオーケストラの連中が居並んで、窮屈が極度かしか無かつたのです。其爲に一番ヴァイオリンの人にどしんとぶつかつてしまひました。おやこれはとんだ大けつど―だ（オーケストラ）としやれる譯にも行かず困りました

○―○

――これは隨筆設の某晩餐會の出來事。少しの休憩を置いて十四五も歌ふものですから、一寸奥へ引込んだ時、パスチーバルダーを口中に含んで咽喉をうるほしてゐました。と出る番になつてうつかり夫を口に入れたままで正面へ進んでゐました。丸飮みにするのはいやですし、と云つてつまみ出して捨てもならず、手に持つても居られず、ピアノの端に置いて二、三曲歌ひ終へました

○―○

拐引込む時になつてそれをつまみ取つて行けばよかつたのですが、口中へ入れながら引込みました。ドッと聽衆の面白さうな笑ひ聲をあとにして。すると間もなく私の生徒がかん／＼に怒つて大邪慳を御注進に來ました。其人と御連れの西洋人の方が、私のそれをみて紙片に

西「あの口から出して又入れたものは何だ？」

生「さあ」

一寸答へにつかへて沈默

西「ああ分つた。おおかたあれは入齒だらう！」

何と愛氣のあるしやれた毛唐さん……。（完）

毒ガス戰

西澤勇志智

將來の戰爭は空である。世界の空の覇權を握る國が强力なる國となるのである。この空の戰爭は勿論飛行機であつて、その飛行機によつてあらゆる強力なる破壞的及び化學的に考案された恐ろしいものが運ばれ、敵國を一刻も早くへコませやうとするのである。毒ガス……これはかの歐洲大戰當時各國を慄へ上らせた搭靈である。

◇

一九一五年四月二十二日獨逸軍はフランダー會戰の時、英軍に向つて約十八萬瓩のクロル瓦斯を放射した。液化クロルを鐵の筒に壓搾して詰め適宜の位置に此筒を配列し風の速度を見計らつて斷栓を開き、一時にクロルを敵陣へ吹きつけた。此時風速は二秒至四メートル氣溫は暖く空氣は乾燥して居りガス攻擊に適當な場合ではなかつた。風速は此位でよいが氣溫が低かつたらず、濕氣が多く霧やあればガス攻擊には此上なしである。此時の攻擊はガス雲の深さ六百から九百メートル、高さは人の背丈よりやや高かつた。時間は五分間位であつたらしい。フランスの記錄では十五分にも及んだと言つてゐるが、これは苦しめられた身にはさうも感じたのであらう。此攻擊によつて受けた聯合軍の損害は中毒者一萬五千名其中死亡者五千名であつた此際は初めての事ガス戰で聯合側には全く防具もなく知識もなかつたためである。

◇

獨逸がT瓦斯といふのを作つた。これは砲彈に刺戟性催淚劑一ジ位を充塡したもので之が所謂ガス彈の始まりで、次で呼吸器を冒かす彈を詰めたK彈を作つた此等は一九一五年既に作られてゐたが其效果を危ぶみ餘り使用しなかつたが、それでも一九一六年の春にヴェルダンのブーリユ森林に此彈丸を射込み其地をガス化してしまつた時には獨軍は一日中敵の砲彈を受ける事なしに戰爭を遂行した位であつた。此後獨軍は毒劑の種類、撒際の方法等に幾多の工夫をこらし聯合軍を苦しめたが其間に有名なのが一九一七年七月十二日夜イープルに於て硫化エチル固ちマスカードガスを詰めた黄十字の砲彈を以て英軍の戰線に行つた猛烈射擊であつた。

◇

午後十時十分射擊を開始し十時三十分に之を中止し、再び十二時三十分より五十分まで及び一時五十五分より二時十分に亘る三回の攻擊をなした。此毒劑は皮膚にふるるや烈しくびらんし命までも失ふ。然もガスに稀つて數時間後に被害が現はれるのである。茲に英軍は非常に多くガス攻擊を受けつつあるを知らず、數時間後に及んで之を感じ英軍中毒者二一四三名內死亡八六名で留かつたがそれは毒劑の少かつたためであつた、一九一七年七月以降戰爭までにガスにより受けた英軍の損害は中毒者十六萬九千七十名中死亡一千八百五十九名で其中十二萬四千七百二名までは黃十字彈に依る損害である。獨軍はガス彈を盛んに使用したに對し聯合軍は爆發砲彈を主に採用した。此れは輕重二種あつて近接して戰ふに適するが、それでも千米以上飛ばし後は三千メートルに及ぶものも出來た。手臨な砲で花火の打上筒を少し工夫したもので、ある。これによると費用も砲より小く運ぶのも樂で且つ砲彈の毒劑搬充塡も增す事を得るのである。これは獨軍を相當惱ましたらしい。

◇

毒ガス戰に用ゐられた毒劑は遂に千を以て數ふる迄になつたが其爆の中で實用上の問題に及第したものは十數種である、さて一口に毒ガスと呼ぶが毒性にも種々用途がありそれに從つて各國とも毒劑を分類してゐる。獨逸では刺戟劑、殺傷劑、中毒劑等と分けフランスは猛毒、窒息、催淚、ただれ、くしやみ、犯罪、發燒の七種に分類した。之等の毒劑を作る原料はクロル、ブロム、燐酸黃、エチレン瓦斯、酸化炭素が主要原料で、クロルは食鹽を電氣分解し得るので間接には電力をも要するのである、我國で此諸原料中缺乏を告げるのはブロムである。其他はどうにか相當の產額を示してゐる。もし猛烈なる毒ガスが未來戰に用ゐられたとしたら一朝に大都市が無人の郡と化することも不可能なことではなくなり國際的にかうした化學品を用ゐることを禁じても、それは往々容られない場合が多いのである。それ故空軍の充實と共にかかる脅威に對する豫防をも大いに攻究せねばならぬではあるまいか。

太陽ガス發見の平山東大敎授

平山東京帝大敎授は世界の天文學者と共に月食の研究を兼ね渡米して目下滯米中ですが今度新しい太陽ガスを發見して世界の學界にセンセーションを起して居ります（寫眞向つて右が平山博士）

雄辯（十一月號）

「雄辯」十一月號の特輯「世界政界大雄辯會」はまさに近來絕無のロングラン記事だ、英國議員政治の行衞（芦田均）軍縮に悩む佛蘭西（植原悦二郎）ナチスの勢力と今後の獨逸（鶴見祐輔）ソヴエート露國の現狀（川谷幸左衞門）ムッソリーニは何故政黨政治を排したか（鹿島守之助）支那全土に跋る共產軍の勢力（長野拓大敎授）內容充實と共に申分なし

萬なかだち

求職一件一回 金貳拾錢　其他 一回 金國七拾錢　匿名 倍額

給仕 入用十七八歳內地人希望 來談北門前 大阪商船會社

看護婦募集 本島人十七 來談大稻埕 電八八六 肛門病院

印刷師 イーノセ 電三三三九 印刷所

記者 求む 九州日日新聞臺北支局

土地付賣家 本町目抜の場所便利 西門市場 電三七〇〇 涂西商會

貸家 文化村 六疊 電四五一番 服部

醫院 又は事務所用に適當の場所あり 川崎へ

電話 賣買 一番不用電話何時でも即金買入れます 榮町一ノ四 電八八 旭屋

恩給 利一分より長期 電三六二六 合資會社

恩給 利子月壹分より長期 臺北市下奎府町一丁目

リットン報告書全文

解說並に關係條約文その他附錄

全世界論議の焦點はこれ!!

朝日新聞社版

見よ！ 問題の報告書の全貌

外務省當局の非常なる苦心努力の下に邦譯されたリットン報告書全文約十八萬語にこれが解說及關係國際條約文その他を併載。日露戰爭以來の日本外交の危機迫る時、將に今次國際聯盟會議の中心議題たるべき本報告書の全容を檢討し批判せよ!!

內容

序篇 副委員の調査と印象 「報告書」が出來るまで 報告書中支那不安定の諸語 ―政府當局一部の見解

國際聯盟支那調査委員會報告書（外務省譯文）

緒論

第一章 支那に於ける近時の發展の概要

第二章 滿洲

第三章 日支兩國間の滿洲に關する諸問題

第四章 一九三一年九月十八日及び其後に於て發生せる事件の概要

第五章 上海

第六章 滿洲國

第七章 日本の經濟的利益及び支那の「ボイコット」

第八章 滿洲に於ける經濟上の利益

第九章 解決の原則及條件

第十章 理事會に對する考察及提議

附錄 ・北滿關係の國際法規 ・滿洲懸案起と帝國政府の聲明

發賣前既に注文殺到！ 品切とならぬうち至急お求め下さい

定價 五十錢 四六判・約三百頁・口繪附 送料六錢

世界と日本

朝日新聞副社長 法學博士 下村宏著 增刷出來

リットン報告書の批判を始め對國際聯盟政策の討究は本書で!!

吉野作造博士評……著者は最後の理想を世界の平和に置き、一面に於て國際協調事業に對する日本民族の分擔の重大性を認めつゝ、他面に於て競爭線上の雄者たらしめんと期して叱咤警世を忘らぬのである。

內容一般 世界の不安（七節）―人口問題（六節）―日本の人口問題（五節）―世界の將來（五節）―國際人口問題（六節）―國際聯盟と歐洲聯盟（六節）―著名の世界將來觀（五節）―日本の人と文字（四節）―國民性の大日本化（四節）―政治の大變（五節）―終りに臨み（六節）

四六判約五百頁 美本 定價一圓 送料八錢

書店、朝日新聞取次店にあり ◆東京 大阪 朝日新聞社發行（振替口座東京一七三〇番・大阪五五〇番）

26―31

メヌマポマード

手入の秋はまた毛髮美の收穫の時!!

洗髮の前、頭皮へメヌマポマードを十分すり込んで毛根へ榮養こマッサージをお與へ下さい

こても洗ひ榮して生々した黑髮のウエーブが、お顔に美しい諧調を見せませう

フケ、脫毛、折毛、切毛にお悩みの方へ 癖毛、赤毛でお困りの方へ

メヌマは純植物性の理想的美髮料です

大阪 東京 井田京栄堂

友田參事外五名 蔡文耀軍に殺害さる

馬賊に拉致された鳳凰城居住の邦人の釋放交渉に向ひ

【奉天十九日發電通】安奉線鳳凰城附近は暴威を振ふ劉鐵梅を頭目とする馬賊團は先月來同地附近居住の邦人九名を人質として拉致し、其後釋放の見込ないので鳳凰城の日滿官憲は去る十日會議の結果或種條件の下に劉の歸順を勸告し、右邦人を救出すべく鳳凰城縣參事友田利秋氏及び藤井鳳凰城警察高等係、習門祕書警察指導官平井成秋氏、劉通譯一行六名は十日午後三時四十分馬車四臺に分乘し龍王廟に向ひ其後消息なく安否氣遣はれてゐたが十八日奉天滿洲國側官憲に達せる情報に依れば一行は刀河堡子にて劉の部下蔡文耀と會見種々交渉せるも意見一致せず一行六名は遂に蔡軍のため殺害されたと

三谷長三郎氏未亡人 百萬圓を獻金

陸海軍に五十萬圓づつ

【東京十九日發電通】東京市麹町區永田町二番地三谷長三郎氏未亡人テイ子さんは亡夫の遺志に依り十九日陸海軍に各五十萬圓計百萬圓の獻金申込をなしたが陸海軍ではその至誠を喜び直ちに之を受領し兵器其他の新設費に充てることとなつた。三谷氏は一代にして富をなした隣保少行の人で武器工業の鉄材に投資し鉄鋼の製造に成功し海軍に納めてゐた人でル一月二十日頃五時で死去したものである

兵匪約三百名 我軍を襲撃

海倫の西北方に於て

【ハルビン十八日發聯合】兵匪約三百名は十七日午前四時頃呼海線海倫の西北方にあつた我軍を襲撃して來つたが直ちに我軍の為め撃退された、この際我方の損害は平野曹長戰死し兵二名負傷した

帝展彫刻の下見

來る九日入選發表のトップを切つた帝展第三部（彫刻）では十三日午前十時から內見を行なつたが今年は例年より選拔數が少ない模様であつた陳列品中には北村西望氏の「逐鹿」と題する大作、朝倉文夫氏の「感に打たれた女」等々が出品として人目を引きつけてゐた（寫眞は帝展彫刻の下見）

結城和田兩氏 鵝鑾鼻を視察

交通局總長の結城兼明、和田三道の兩氏は次の日程にてガランビーの視察に向ふ

二十日夜行にて臺北發、二十一日高雄を經てガランビー視察、同夜四重溪溫泉泊、二十二日晝南、二十三日恆春より臺北歸着の豫定

支那汽船中に 二十餘名の海賊

香港出港後に蜂起

【基隆電話】十九日午前十時基隆入港日下沿外で檢疫を受けつつある西船南支航路協山丸で南支の海に又復海賊が蹶起したとのニュースが齎された、それに依れば去る十一日午後七時半船客三百八十七名を乘せた支那汽船大中輪號が西貢に向けて香港を出帆せる翌十二日午後四時、突如船客中に紛れ込んでゐた海賊二十數名が蜂起し騷ぎを聞いて驅けつけた二等運轉士を先づピストルで脅かしつけ、ついで高級船員全部を縛し一部に監禁、更に各々ピストルを擬しつつ船內隈なく捜査をはじめたので船客の所持した貴重品全部を奪ひ、トルの監視付きで船首を一文字に出してビスを探査乘組員を交互に見張らせ、船頭と香港の中間にある彼等の根據地迄運航せしめた十四日午前二時目的地に到着するや彼等はボートを卸させ掠奪品全部を乘せその上船長外四名の人質を拉致された船長だけは間もなく放免されて歸つて來たが之は後からの發見されるのを避ける爲と思はれる、かくて乘客と四名の人質の犠牲を出して漸く放免された同船は無電はアンテナは切られてゐたが未だ再びなさぬ程度のものではなかつたので直ちに香港に急報を依頼するとともに全速力で香港に向け十四日午前十時歸港したのである、尚出でを受けた香港政廳では直ちに船客及び船員八名を逮行嚴重なる取調べを開始したがこれは船員の一部が後來海賊の手引きをなしたとの疑ひによるもので同船は一昨年も同様海賊の厄に遭った時も一部に犯つたものと思はれる尚船客中には外人宣敎師の夫人二名が乘つてをり海賊は非常に好遇したが掠奪の點は同樣にうけたとの事である

第八回動物學會 臺北帝大で開催

二十三、二十四の兩日に亙つて

內地からも多數出席

日本動物學會主催の第八回動物學會が二十三日、二十四日の兩日臺北帝大に於て開催される事になつた。近來全國的學會の會合が好んで臺灣にて開催される機運が生れ、既に二三開催されたものもあるが、而し網羅的な全國的な大會としては今回の動物學大會が嚆矢であり、其の點よりしても大いに意義のあるものである。二十三日、二十四日の兩日に亙つては五十一の演題について夫々從事者から研究の發表がある筈であるが、當日は臺北帝大及中央研究所の新進專門家は總出の有様で、今回の大會では主として臺灣の動物に就いての研究發表が中心問題にされるであらう、尚今回の大會に出席のため內地から北海道帝大の內田敎授、東北帝大の杉浦敎授、京都帝大の駒井敎授、九州帝大の大島敎授京城帝大の小林敎授等約三十名の專門家の出席がある筈で、又滿洲、上海方面からも數名の出席者がある豫定である、而して近來の動物學の研究科目の傾向は實驗動物學的な物、遺傳、細胞生理方面の物が好んで選ばれてゐるが、今回の第八回動物學會の議題にも、此の傾向が明らかに現はれてゐるやうである。因に大會終了後、出席の諸氏は二十五日の夜行で中南部の視察に赴く豫定であるが、九州帝大の大島敎授、京城帝大の小林敎授は大會終了後約一ヶ月居殘る由で、小林敎授は十一月臺北に於て開催される發育學會にも出席し又其の間マラリヤ、恙蟲等發育の特殊研究に就て研究を續ける筈であると

臺灣での開會は 頗る好都合

動物學會に出席する 駒井京大敎授語る

【神戸十九日發本社特電】大和丸は定時出港したが駒井京大敎授は

下臺北に於て開催の第八回動物學會に出席の爲乘船したが、駒井氏は「あらゆる動物の多い臺灣で大會を開催すると云ふことは非常に好都合で、まるで實物に行くやうなものである、此の動物學會では各自の研究を發表すると同時に相互の意思疏通を圖るために學會に非常に貢獻してゐる、私は今度は變つた方面の人間の變異について研究を發表する心算である

上田特派慰問使 渡滿の途に上る

數百名の盛んな見送裡に 十九日臺北驛出發

本島民の熱烈なる國民的感激を北滿駐在の我が將兵に傳ふるべく本社發起の慰問品目錄及び河村本社長のメッセーヂを携へて遠く北滿の地に特派されたる本社特派慰問使上田安昌記者は十九日午後一時二十八分臺北驛發、同四時基隆出帆の瑞穗丸にて雄々しき使命の途についた、臺北驛頭には中瀨臺北州知事、西澤市尹、福元臺北州內務部長、西田文書課長、川副交通局總務課長今田警務、玉野保安兩課長その他州及び市の理事官關係者、民間では新聞關係者多數の中に三好、高石氏等の顔も見えたが、特に目を惹いたのは婦人會より平塚會長夫人をはじめ、中瀨知事夫人、友部、田端兩部長夫人、西澤市尹夫人等の心からなる見送りあり、さらに大成男女靑年團、府後靑年團の有志もプラットホームに堵列して行を壯んにした、本社からは河村社長、大澤主筆外社員多數見送り、これ等の人々は臺北市旗や臺日旗を手に／＼慰問使の首途を祝福して心からなる感謝の言葉を北滿の野に飛ばする我が勇士に傳へんことを念ひかくて列車が動き出すと西澤市尹の音頭で萬歲を唱へる四百餘の見送りの人々は「臺日慰問使萬歲」を三唱して感激と祝福のうちに上田慰問使は臺北を出發した

（寫眞は上田慰問使の臺北驛出發）

上田慰問使 基隆を出帆

萬歲の聲に送られ

【基隆電話】本社の在滿部隊慰問特派員として渡滿の途に向ふ上田特派員は既報の如く十九日午後三時十分基隆着の汽車で近江時五郎氏その他の民間有志等の多數の訪問をうけデッキは之等の人々でかなりの賑ひを見せたが同船は午後四時岸壁をはなるるとともに見送り人の萬歲は高らかに行はれて豫定通り極めて盛況裡に出港した、尚市尹助役及び助役其他市役所員、服部警察署長、瑞穗丸船內には基隆市長、小島市、各部長、憲兵分隊長、近藤警部、三宅支那事務官、近江時五郎氏その他はランチで港外まで見送つた

會田慰問使 高雄を出帆

愈よ馬公へ向ふ

【高雄電話】既報馬公要港部の海軍部隊に特派の本社會田記者は慰問品目錄、本紙慰問號を携へ河村社長より山內馬公要港部司令官に宛たメッセージを携帶十九日午前八時八分下り列車で高雄着、州廳に野口知事を訪問後午後十時商船登坂丸にて安達高雄州地方課長、佐藤文書課長、栄市助役、本社支局員等の見送り裡に馬公に向け出發した

腺病質兒童の爲 特別學校

日本結核豫防協會で 設立を要望

近來腺病質兒童が漸次激增しつつある實情に鑑み、今回日本結核豫防協會より文部當局に對し、これが豫防對策として人口三萬以上の都市に對し腺病質兒童分離敎授施行上、特別小學校の設置を方に勸告建議するところがあつた、即ち結核豫防の對象たる腺病質兒童の當局は須く規則又は訓令によつて育すべき特別小學校を設置すると共に、衞生知識を鼓吹敎育に於て付與し、更に學生、生徒、兒童の體格檢査は從來形式的の感があつたので、今後は一層嚴重にせられたしとの趣旨であるが、これに對し、文部當局の意向を叩くと「近代文明の集團的生活の中では結核の感染は一般的であるから、その療養所も必要であるが先づその豫防策として將來結核に侵され易い腺病質兒童の體質改善は最も緊要な事である、現在腺病兒が五パーセントで、そのうち一パーセントの十萬人は開放學校に收容すべき兒童である、本省は腺病兒童對策として開放學校、養護學校、校外學舍の三種の施設の獎勵を圖つてゐるが、開放學校は經費の關係で、まだ實現されてゐないが、しかし學級組織として二百餘校もあること

本島とロシア間に 製茶取引が成立

三十萬封度を野澤組が輸出

ロシア船は今月末入港

露國と日本との貿易は近來益々良好となつて來たが本島でも露國政府との間に三十萬封度の製茶取引が成立した露國政府との製茶貿易は一昨年野澤組が三十五萬封度の取引をなしたのが最初で昨年も取引の交渉をなしたが價段の點で折合ひがつかず、又輸出補償法も本島にはないので遷延してゐるうち製茶時期を失し遂にものにならなかつた、然るに本年は秋茶期に於て

包種茶 が未曾有の不振を極めどうしても新販路を開拓しなければならぬ關係もあり、野澤組ではロシアとの取引商談を進めてゐたがなか／＼捗らなかつたところ最近三十萬封度（二十二萬五千斤）の契約が成立した、本島では輸出補償法がないので野澤組が內地で相手方と契約をなし臺灣茶共同販賣所がこの輸出茶を供給するもので取引價段は先方では支那茶と比較し安く値をつけるので、本島としては或程度までは大に勉強せねばならぬが損してまでは取引契約を締ぶ譯に行かず困つてゐたところ、總督府殖産局でも目下茶業の現狀に鑑み且つ新市場として露國は中茶以下の茶を供給するには誠に理想的市場であるので支那茶や外國茶と競爭の出來るやう更に露國と貿易の

端緒を 開きたいと盡力し、臺灣茶共同販賣所に對し貿易の保證上損失を招く金額だけの補助金を支出し臺灣茶貿易の發展を圖るべく先づ野澤組をして輸出せしめ茶共同販賣所がこの輸出茶を供給することになつたものである、而して右輸出茶は目下野澤組の工場に於て再製を行つてゐるがこの茶輸出のため日本駐在露國政府通商代表部茶業部長リプシック及び茶鑑定官セーニングの兩氏が本月末來臺し一應檢査の上十月末基隆入港の露國汽船にて輸出する豫定である、目下包種茶は秋茶の出廻り期であるに拘らず依然たる不振を極めてゐる際三十萬封ドの製茶輸出を見ることは茶業界にとつては寔く救ひの神といふべく將來永久に取引をなすべき話で露國も今後年々增加すべく日露貿易上からしても臺灣茶の露國進出は甚だ喜ばしい現象である

臺展の入選發表

けふ午前八時半

臺展の審查は十九日中に終了を見たのでその結果を二十日午前八時半に發表するが東洋畫入選は第一部敎育會館前に、西洋畫入選は敎育會館前に各々掲出される。因みに新聞記者席への發表は同じく午前八時半敎育會館にて行はれる

臺中の蘭展覽會 出品物を入札

【臺中電話】臺中蘭展覽會は十六日臺中市民館にて開催され出品點數二百餘點、この中、賣約濟物を初め優秀品百餘點を殘し他は十六日夜入札に付して七百餘圓を示し賣上げ、十七日は午後一時から賣約を開き、賣殘品の賣殘り品等をも競賣に付した所約九百餘圓合計一千六百六十餘圓に上つたが最近の蘭展覽會では例のない大賣上で、世間の不況の察るに從ひ臺中に於ける蘭熱は益々昂まり行く傾向を示してゐる

英艦乘組員と ラグビー戰

淡水中チームが

淡水中學校ラグビー部では來る二十二日（土曜日）午後二時半から同校校庭において二十日基隆に入港する英國軍艦カムバーランド號乘組の選手とラグビー試合を行ふ筈であるが淡水中學チームは在校生と卒業生を混合した編成をもつて組織してゐるから當日は定めし好試合

臺灣地學會の 第四回講演會

【臺灣地學會】では二十日午後三時より帝大理農學部化學敎室第二講義室にて第四回講演會を左記の通り行ふが一般の參會を歡迎すると

一、河內國の地形について　早坂一郎

一、希臘及パレスタイン旅行談　市村毅

高壓線にふれ て即死

臺北州七星郡北投庄北投六三〇陳玉串（二七）は電氣に關する無智から十八日午後八時半頃自宅附近の電柱に上つたが高壓線にふれて即死した

4A—2 立敎勝つ

對帝大第一回戰

【東京】六大學リーグ帝大對立敎の第一回戰は十九日午後一時五十七分から藤田（球）森、森田、四氏審判の下に帝大先攻で開始、四A對二のスコアで立敎勝つた、試合時間二時間二分

立	0	1	1	0	1	0	0	1	A	4A
帝	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2

高木書記官を 總督が招待

中川總督は十九日午後六時より總督官邸に來臺中の高木宮內書記官

高木書記官の 島內視察日程

十八日來臺した高木宮內書記官は二十一日午前八時四六分臺北驛を發し全島の社會事業を視察するが總督府からは社會課の屋野屬が隨行する。視察日程は左の通り

二十一日　臺北發、バタカンへ

二十二日　バタカン發花蓮港へ

二十三日　花蓮港發臺東へ

二十四日　臺東發大武へ

二十五日　大武發四重溪へ

二十六日　四重溪發高雄へ

二十七日　高雄發臺南へ

二十八日　臺南發阿里山へ

二十九日　阿里山發嘉義へ

三十日　嘉義發水社へ

三十一日　水社發彰化へ

十一月一日　臺中發新竹へ

二日　新竹發角板山へ

三日　角板山發臺北へ

四日　基隆より離臺

精神異狀者 通行人に亂暴

【高雄電話】高雄市入船町五丁目……は本年六月頃から精神に異狀を來たし家族の者が監禁してゐたが十八日朝手錠足錠を切つて室外に飛出し街路に出て通行人に亂暴を働くので高雄署に檢束され目下保護中

ガソリン問題で 日石の反省を促す

臺北州自動車營業組合 役員會で決議

臺北州自動車營業組合は來る十一月八日に開かれる筈になつてゐる定期總會の準備打合せと目下紛糾中のガソリン問題の協議のため十八日午後一時より市內明石町の組合事務所に於いて役員會を開催、ガソリン問題として東京に於いてはガソリン一ガロンの價段四十三錢のものを四十一錢に値下げしてゐるに拘はらず現在臺灣に於いては一ガロン五十一錢のままを持續し一罐（一斗一升）につき五十錢の高價を示してゐる、しかも臺灣には內地へ移出し臺灣より安價で販賣してゐる乍ら臺灣にだけ高く賣りつける事は何と考へても不合理であるから來る總會迄に具體的對策をねり日石側の反省を促すを決議し總會提出事項として

一、運轉手三年間以上勤續者の表彰の件

二、警務局三部下本組合支部問題につき州當局と交渉の件

三、總會に全島自動車組合を招き島內自動車界諸問題につき團結一致して當るべき件

四、十一月十四日より一週間臺北州全般に實施される第三回交通安全週間に對して組合として後援すべき件

等につき協議決議したが自動車界の深刻な不況で自力更生運動の機運旺盛なる折柄ガソリン問題其の他の諸問題につき全島自動車營業組合の幹部を一所に集めて對策を協議せんとするの計畫は興味あるものとして注目されてゐる

臺南州下の 產業海岸道路

工事は各郡で擔當

【臺南電話】臺南州下海岸道路計畫路線は既報の如く過般來臺南市外から新豐、北門、東石、北港、虎尾の郡境で北進してゐたが、昨今では東石附近の路線を測量中で北港、虎尾の郡界下を

殘すの みとなつたが之は本月中に全線の測量を終了する豫定で測量を完了すれば各郡の所屬路線を整理し路盤工事は各郡に委託して各郡獨力でこれを施行せしむる筈である、その海岸道路は山手線に對する十間の產業的道路で地方民の出役その他の方法で施工せんとするものであるが之は各郡とも地方の實情に應じ各郡の事情によつて區間は郡部の下に設定しこの區間は

法大校友會臺北會の月例會

法政大學校友會臺北會では二十三日午後二時半より鐵道ホテルに於て十月例會を兼ねて往年五大學校友會OB野球試合の打合せと法政大學會館建設基金募集に關する打合せをするから會員多數出席ありたしと

市民歌

けふで締切

臺北市役所において募集中の市民歌は愈よ二十日を以て締切りとなるが、これまでの應募は三百餘に達してゐる

民謠當選者に 賞品贈呈

本社が代表的の民謠歌詞を募集し多數應募作品を審査した結果、左の三氏が當選した所は既報したが規定の賞品は夫れ／＼贈呈した

一等當選　臺北市兒玉町七番地內　玉正　氏

二等當選　臺北市文武町四丁目　北川　氏

三等當選　臺南市綠町一の三八　長老敎中學　上村仁一氏

公園から 砥砧石を竊む

【高雄電話】高雄市旗後町二丁目……の二人は十八日未明西子灣北方の外海沿に打ぎはに砥砧石を盜み込み內港に漕ぎ返つて大盜にも荷揚所を州廳警察の取締に發見され兩名とも高雄署員に檢擧されたが彼等は之迄屢々同様手段で犯行を重ねてゐたものらしく目下取調べ中である

特別廣告 內科花柳病 山本醫院

漢文臺灣日日新報

承認答禮專使謝總長 參內捧呈執政親書

十九日東京電。滿洲國承認答禮使謝介石氏。十九日。爲捧呈溥儀執政親書參內。午前十時十分。乘宮內省所發金色燦爛之儀裝馬車。出大旅館公館。有近衛騎兵一小隊。捧紅白槍旗警護。市民揮日滿國旗歡呼。自二重橋入宮。林式部長官出迎。憩於西溜間。十時半。進鳳凰間。天皇陛下。服陸軍樣式大元帥正裝出御。林長官爲先導。鈴木侍從長以下供奉。內田外相。一木宮相。林式部長官等侍立。傳旨賜謁。謝專使。恭申敬意。乃謝率先承認滿洲國之禮。捧呈溥儀執政親書。陛下賜以優渥之詔。捧呈爲禮。天顏大悅。特使於是將大橋次長。以下十四名隨員。披露奏聞。而退御前。更於桐間。拜謁皇后陛下。亦緊握手爲禮。感激退下。十一時半。一旦歸帝國大旅館公館云。

豐明殿賜御宴 捧呈執政藏品

謝答禮使。午後零時半。偕大橋次長。與駐日代表先後參內。進千種間。謁見秩父宮同妃兩殿下。再謁天皇。皇后兩陛下後。與齋藤首相。內田外相。一木宮相等。扈從兩陛下。進豐明殿。列午餐會。此間宮中樂部。奏管絃助興。既而於牡丹間。答禮使爲中心川與歡談。特使捧呈執政藏品。近三時。感激優遇退下云。

訪齋藤首相。相於官邸。敘上京之禮。且就滿洲統治情況報告。十時半辭去。

謝總長 賜勳一等

十九日東京電。承認答禮使謝外交總長。十八日入京。九重下賜勳一等旭日大綬章。

謝總長聲明 來朝非形式的答禮 須極力謀親善

十九日東京電。謝總長已遂答禮大任。由宮中退下。午前十一時半。發表聲明書如左。今由宮中歸。幸無大過。完答禮重任。不勝同慶。又陛下賜優渥勅語。感激之至。私爲答禮使來朝。非形式的答禮而已。須以誠心誠意。徹底的圖親善。吾等依答禮精神。今後擬爲努力。今答禮期雖終了。責任實未終了。今後當以粉骨碎身。努力而盡瘁也。

遣林長官 到旅館答禮

十九日東京電。天皇陛下。嘉十九日參內之滿洲國答禮使敬意。午後二時十分。爲答禮。差遣林式部長官於帝國旅館。

上田本社慰問使 北驛起行各界多出送

本社所派滿洲慰問使上田宏堂氏。既如所報。去十九日午後二時二十八分。發臺北驛。以就東上之途。本社河村社長。以下社員友部營務局長。中瀨臺北州知事。平塚長官夫人。知事夫人。局長夫人。其他官民各界要人。多出送。臨發之時。三唱萬歲以壯行色云。

對報告書我意見書 吉田大使携行 松岡全權內訓概要

十九日東京電。對於律政報告之帝國政府意見書。已略完。但有一部調製未了。至二十一日。不能翻譯印刷。故對二十一日夜出發之松岡全權。由內田外相。惟就意見書概要內訓而已。意見書以二十八日大使出張壽府之駐意大使吉田伊三郎氏携行。

樞府顧問官 就任內定 山之內一次氏

十九日東京電。樞密顧問官缺員二名中。一名欲補充。政府樞府間。方爲交涉。今回內定任命貴族院議員山之內一次氏。近將發令。

三大製紙會社 合併簽印

十九日東京電。本邦製紙三大會社王子。富士。樺工合併假簽印。十八日午後。在丸之內工業俱樂部。藤原銀次郎(王子)大川平三郎(樺工)兩氏斡旋裁定。齊池田成彬。結城豐太郎氏等出席終了。合併臨時總會。各社別至十一月十九日開催。合併後新王子製紙之報告總會。明年四月十八日。新株券交附決定五月二十日。全國生產高占九成之三大製紙會社。已見成立。

中川總督 訪齋藤首相 報告統治情況

十九日東京電。中川臺灣總督。十九日午前十時。

中外要電

英俄通商協定廢棄 英自治領相馬士氏。本日在下院。英國政府。十七日對蘇俄代表。附六月後予期間。通告英俄通商協定廢棄。

白耳義內閣總辭職 藍箱氏爲主班之白耳義內閣本日總辭職。原因乃財政

美大統領模擬投票 兩旬後美國將選舉大統領。十八日某誌發表。全美四十八州模擬投票結果。爾儲麥陀氏。有壓倒的優勢。

一、四七三、四四六票五六 爾儲麥陀(民主黨)
九七三、三六七票三七 胡美(共和黨)
一二七、一三五票四八 乡馬士(社會黨)

英國勞働黨首辭任 英勞働黨首領藍斯巴里氏。八日辭黨主。其理由乃下院失議席也。

帝國在鄉軍人會全國大會 指摘報告書認識不足 在日比谷新音樂堂開催

十九日東京電。帝國在鄉軍人會。來二十九日。在日比谷新音樂堂。開全國大會。會員約七千名集合。指摘律致報告書認識不足。作愛國運動先驅。當日招邀各國務大臣。政務官。軍部。樞密院。貴衆兩院。在京各新聞通信社代表等。奉戴閑院總裁宮令旨。陸海兩大臣及會長訓示後。開明壯烈決意。既終。一同示威行進。二重橋前三唱萬歲解散。

高木宮內書記官一行 視察龍山寺愛愛寮 廿日午前九時起巡視市內

既報高木宮內書記官一行。去十九日午前九時。發鐵道旅館。偕福元內務部長。中村社會事業主事。佐山市係長。督府社會課陳主任嚮導。赴臺北仁濟院。受同院職員出迎。在應接室。聽中村理事說明內容。後巡視院內。慰問治療者。次抵愛々寮。受寮主施乾氏迎接。聽取說明經營。又隨行者。質問與收容臺東開導所浮浪者相違之點。福元內務部長。及中村主事。各以收容于愛々寮者。係乞食階級。收容臺東開導所者。皆持有偏人之惡力漢。於是一行。始知其非同類。又對精神病者。有種々質問。各員熱心一巡察內。次經恩賜診療所。抵龍山寺。由該住職林覺力。蔡彬淮。黃玉對等氏十數名前導。參觀寺內。署名于芳名錄。即赴臺北託兒所。西門市場。十善會。臺灣共濟會。大和町公設質舖等。詳細巡視。正午抵成淵學院。視察後在同院午餐。下午一時半起。赴松山救濟所。臺灣婦人慈善會。博愛醫院。人類之家。馬偕醫院。

三尻炭子腳驛長 出獵傷女生四名 在中壢驛埤池東側

桃園郡炭子腳驛長三尻袈裟雄。去十五日下午四時半。持銃出獵。至中壢驛。由菰渼埤東側。欲射擊埤中水鴨群。連發二彈。誤中在埤岸之林投樹邊。觀獵中之中壢小學校女生四名。卽爲草漯坡埔心庄人可遠拔子。及楊振紙屋港吉之長女。名都代子。同次女遊子。同庄杉岡一郎之次女光子。目下三尻。只逢犯銃獵取締規則。及過失傷害罪。由中壢郡警田司法主任。取調中云。

十月南雅社月例會 開於淡水公會堂

北南雅社諸同人。去十六日。開月例會於淡水公會堂。一行搭過午五十分臺北驛發列車。到則受臺展審查員木下靜涯畫伯。中村。酒井郡區。暨兩課長種々斡旋。乘小汽艇。視察港內一周。上陸後。乘自動車。往探光緒年間所造北門鎖鑰砲臺。及西荷三次爭覇之紅毛城遺址。滬尾砲臺荒廢不堪。紅毛城現充英國領事館。撫今追昔。殊令人感慨繫之。晚歸公會堂。賦詩揮毫。受靜涯畫伯等。晚餐招待。田中郡守。李街助役。暨其他有志來會者。凡十餘人。席上尾崎古村氏。謀滿淡水史乘。散餘至八時五十分。始搭車歸北。得詩如左。

秋霽 成軒
荷過秋分欲菊威。炎荒草木復芳菲。垂楊葉嫩竹生笋。百日紅開映客衣。

○ 古村
倚岸漁家掩板扉。平沙晒網叙斜暉。翠鬟隔水觀音近。江上秋風一鳥飛。

○ 萱南
西風度檻入吟衣。秋到江蠏鱸正肥。目斷水天唯一碧。落霞孤鶩送斜暉。
微風嫩日近重陽。日送歸禽大末翔。步自江南到江北。黃花隨處絵秋光。

○ 天籟
餘霞成綺遠山紅。誰傍翅橋翠煙迷。料識新晴漁獲當。家々晒網夕陽中。

○ 潤菴
南國大秋天始涼。快晴出郭晚携笻。眼前佳景吾能道。墟里家々橘柚黃。
夕陽村社鬧迎人。簫鼓秋成競賽神。晴綠水天青一色。落霞又傍鷺飛頻。
菊花時節共題糕。誰若詩中老俊豪。天爲吾曹開眼界。不教風雨阻登高。

○ 陵村
秋晴天氣似春時。風日太暄宜爲行。霜後山々屐於鐘。千林蒼色絲復生。

○ 天隨
半旬風雨滿邊城。天自重陽倚後晴。看到十分秋色麗。山々疊翠最分明。
雨餘嫩日又西風。淡々平郊一徑迴。七種花凋露仍溼。可憐抵死有吟蟲。
晴日天高頑氣新。行吟忽忘病餘身。等閒爲木易搖落。祇道涼風殊健人。
天低隔岸遠山蒼。憐地停節竹立長。秋到蓼花紅匪匪。西風古渡又斜陽。
九州霜氣四圍山。心趁歸步自閒。來日楓林沽醉好。夕陽爲汝駐朱顏。
千林葉盡已凋殘。翅傾老淡水乾。步下秋山天向晚。白雲如絮不防寒。

紅毛城 天隨
大屯低昂紫翠堆。淡江奔騰繞山回。要使臺灣歸指顧。憑險猶作金湯固。北臨砲勢操衡。西人得窓滿人員。三戰初捷功可紀。西人臉落南人喜。鵲蚌之爭起漁夫。鄭氏略地到海隅。滄桑旋過三百歲。廢堞今日委荒蕪。虎兒滿條羽檄飛。江山不復留戰血。巨防猶是歷刼餘。石壁八尺半於鐵。滿日鯨濤黑水西。杳杳天向八圍低。徒留英雄赤袖手。清時何用一丸泥。

○ 潤菴
荷過茱萸菊綻金。紅毛城上共登臨。縱情詩酒誰賓主。歷刼山河自古今。雲拖觀音銜夕照。天低滬尾結秋陰。北門鎖鑰餘題字。遺址相憐感慨深。

○ 古村
紅毛城址倚嶙峋。落日蒼茫易愴神。形勝依然人事改。江山今屬異邦人。
一片江山斜照天。低回立盡古榕前。滄桑歷刼眞多事。風雨蕭條三百年。

○ 萱南
三百星霜古。紅毛此築城。樓臺荒角絕。壁久薛蘿生。亂疊環堪峙。長江務郛横。憑高時悵望。天末落鴻鳴。

○ 天籟
大屯西盡淡江開。聞道紅夷此築臺。三百餘年曉麗刼。寒煙衰草夕陽頹。

○ 陵村
當日繁華夢不回。依然形勝倚推嵬。斜陽影裡殘蹤寂。獨吊紅毛舊礮臺。
海門浪砥瘀千檣。如此金湯足巨防。緬想當年愁不耐。紅毛城外立斜陽。

○ 成軒
斷礎縱橫砲危。殘楊黃落夕陽遲。西人剏業憐陳跡。淡水城翻英國旗。

席上聯句
海門晴色殘日街。天隨
湖初磐口淡佔飄。古村
誰賦三九拾蛤蚪。萱南
沙上人語聞呢喃。翁亭
一帶淡煙籠紫杉。陵村
少吳行令凉滿衫。成軒
大市繁時商品々。潤菴
石蹴而黑天半嶔。思齊
觀音滿瘦神斧劚。成軒
却是峻絕同階函。翁亭
終古龍氣難鹹鹹。陵村
特地淑靈鍾秀誠。天隨
紅毛城古要地嵌。萱南
無滋他族肆貪饞。潤菴
心雖欲語口三緘。思齊
絕似長護豢貌讒。古村
佇立撫古爽較嚴。萱南
偏愁荒嘆取次嘶。成軒
江山如此終非凡。陵村
紛々塵事都掃芟。翁亭
日落倚欄呼酒盦。思齊
長風吹亂毛髮髟。潤菴
敢將斯牛問巫咸。古村
嗟予久被路鬼監。天隨

北市下賜金 舉傳達式

天皇。皇后兩陛下。對本島風水害。御下賜金。臺北市役所。訂來二十一日午前十時。假樺山小學校講堂舉傳達式。受賜金者有百六十一戶。金額三百四十圓云。

租界及特別區內 外人商社徵營業稅 漢口特別區營業稅局通告

十九日漢口電。漢口特別區營業稅局。十八日對日法兩租界及第一第三兩特別區內外人商社。忽通告營業稅賦課徵收。對此不法課稅。我租界內邦商。取默殺態度。營業稅局。若不應徵收。一切不與保護。形勢頗爲注意。

龍巖共匪本據地 被第十九路軍開始攻擊

十九日廈門聯合電。第十九路軍。業已開始攻擊福建共匪軍之本據龍岩。蔡挺搭氏。去十七日。赴龍岩。沈耀漢之第六十師。風傳十七日午後已占領龍岩云。

會田特派員 赴馬公

既報本社會田特派員。去十八日午後十時半。搭臺北驛列車出發。驛內有多數本社員。手執本社小旗。及婦人等送行。請水軍參謀長。水戶馬公要港部參謀長。田中航空參謀等亦搭同列車南下。有鈴木海軍武官送行。一時。外驛內非常混雜。

鄭中華領事 歡迎會 廿四日午後四時 開於蓬萊閣

前報臺灣中華總會館。新任駐臺中華領事鄭延禧氏。及同副領事劉宗瀚氏。並隨習領事一行。豫定搭來二十一日午後入基隆港之盛京丸抵任。爲是。臺北中華總會館館員。暨他華僑多數。擬往基隆迎接。又同會館。決定來二十四日午後四時。假蓬萊閣。開歡迎會云。

全島華僑代表大會 午前九時開豫備會議 午後三時舉發會式

第六回全島華僑代表大會照所豫定。於昨十九日。開於臺北中華總會館。午前九時。先開豫備會議。發起官立鑑。彰化郭耀廷。屏東盧天泉。臺中曾博安。果羅鳳階。汐止丁瑞年。林一清。旗山阮賀治。王羅東陳道坤。宜蘭陳銀生。許嗣箱。臺東鄭昌聰。員林廖介卿。桃園陳蛙。潘賢友。白河高依水。及臺北王耀廷。林秉鴻。新竹陳顯鏡。淡水蔣子敬諸氏出席。一同推舉曾博安氏爲臨時議長。決議午後三時。舉發會式之事。次報告各地方會館要旨。陳述對於今後領事館的希望。選舉大會職員。至十一時散會。同日午後三時。續舉發會式。前記各地代表出席。定刻。搖鈴開會。一同入席。向國黨旗總理遺像。行三鞠躬禮。恭讀遺囑。然後由林栢村氏。起述開會辭。次有中華領事館隨習領事代理林國珪氏訓詞。潘文安氏答詞。終則高呼口號。開茶話會。直至同五時。散會。

新竹金銀商 籌設組合 請當局買舊金

新竹金銀細工同業者。現值舊金暴昂。而舊金塊買賣不振。細工商失業頻出。生活極度困難。要施救濟策。於是十八夜。在驛前花世界。爲議設竹州同業組合。並請當局買收舊金附件。開礎商會。定刻首由劉蒼山氏。提議同業組合創設一案。均得贊成。次由謝江坤。提議要速務爲內同業者。向當局請願舊金買收。亦得通過成案。舉後推鄭盧等。許灶生。謝江坤。劉蒼山。陳寬塗諸氏。爲組合剏設質行委員。最終議決。不日派員到新竹州下。募集加入者以資設置進行。方即散會。

臺北總商會與辰馬 運賃問題懇談會 畢竟難得圓滿解決 總商會發出警告

關於辰馬汽船與郵商兩船會社協定。內臺間運賃再騰。臺北總商會。以辰馬一邊之無視契約。始終反對。雙方間幾行交涉結果。乃容辰馬汽船代理店九一組所要望。於去十八日午後六時。役員及重要貨主。受招待到江山樓開懇談會一節。已如前報。主出席者。計五十九名。先於同日午後四時。開礎商會。協議欲要求其履行契約。及賠償金五萬圓。讓步至三萬圓等問題。迨至同六時。移開懇談會。辰馬一邊。九一組吉原保男氏出席。總商一邊。常任理事清川氏外理事。評議員。合重要貨主五十九名出席。乃對之提出要求如左。

一、希希要求。
甲、要求運賃照從來。
乙、將運賃三成五分。
乙、爲違約金。賠償三萬圓。
一、有不履行之時。則提出訴訟。

因九一組吉原保男。答以席上不得即時回答。只是臺北總商會。遂於翌十九日午前中。草成發告文。就內容說明。向其本社社長木村精二氏處發送。問題進展如何。前途殊令人注目云。

假檢疫地鎮祭

高雄州港務部假檢疫所之地鎮祭。於去十八日午後三時起。佐野口知事。小林內務部長。小林高雄市尹及多數官民臨席舉行。

逮捕恐喝者 巡查部長負傷

基隆郡管下貢寮派出所巡查部長。大森二作氏。年四十三。去十八日下午八時半。偕部下四名。赴澳底驛前。捕恐喝被疑者。無賴漢楊德年二十二。格鬪後捕住。部長右部左腕及他處被毆傷。全治要三週間云。

櫟傷女孩

苗栗街公館庄出礦坑之石工夫渡邊榮作。爲急事欲往苗栗。去十七日自出礦坑。抱其長女渡邊木。共乘黃火生所推之第九號臺車。進至烏楳落坂路上。與來自苗栗之上坂臺車衝突。榮作身搖。不能自主。竟將長女跌落於兩車間。被櫟傷額前。併左足云。

時評

○兩陛下。賜謁謝專使。躬與握手。豐明殿御宴。款敍勳一等。授旭日大綬章。禮至隆重。所以待新國家可謂厚矣。

○日滿兩國。親如骨肉。有無相通。亦義亦理。內地所無。滿洲給之。滿洲所乏。內地補之。設然生產過剩。轉消經濟統制。所必行也。

○布志護謠者。內地有種々機關。致以詔之。助以旅費。紹介薦拔。臺灣則無之。只賴謝氏一二篤友耳。安能多得力哉。

○島內開業醫。尚多不足。乃堀內醫校長。猶往視察。其他官民。仍視本島爲樂土。向無進出之要歟。抑何不好乃爾。

羅東郡聯合青團 開運動會五結庄優勝

既報羅東郡聯合青年團。去十七日午前九時半。在羅東街運動場。開第一回聯合運動會。參加團體有羅東。五結。冬山及三星各街庄團。男女青年團及敎習所等。計二十八團。人員凡千二百餘名。是日天晴。來賓有陳街長。五結庄長。佐藤郵便局長。昭和製糖山瀨重役。其他觀覽者約萬五千餘名。定刻各團體整列。一周運動場爲入場式。合同體操後。開始陸上競技。午前中出演十六回。卽豫選百米。二百米。四百米。八百米。千五百米。而外有女子青年團之遊戲。午後二十五回。女子青年團四百米之繼走。一等利澤簡團。二等茅子寮團。男子青年團八百米之繼走。一等利澤簡團。二等二結團。三等三星團。敎習所四百米之繼走。一等五結。二等羅東。街庄團八百米。一等五結團。二等羅東團。而利澤簡。二結及茅子寮乃是五結庄之部落。結局團體競技五結庄優勝。至同四時半。舉閉會式。降下國旗後。由板谷郡守。高唱三發萬歲散會。

中壢命案 爲捉從妹姦情 四兄弟毆姦夫

中壢郡觀音庄白沙屯人徐發蓮。金玉。阿金。金榮昆仲四名。有從妹徐氏阿妹。年二十。去十五夜。在白沙屯下庄子人呂鄭氏月妹宅內。與中壢街過嶺人黃金成歡會。被伊等兄弟所聞。乃於同夜九時半往襲。將姦夫金成捉住。一場。金成被毆。逃歸後。即延中壢街戴醫師判定。以外科傷。受其醫治。延至十七日午前四時斃命。右據戴氏診斷。有受傷致死。皮下溢血。呈紫赤色。疑不無致命。爲是中壢郡。特將情具申於臺北地方法院檢察局。派遣醫師解剖中云。

被買囑毆人 逃走無路 躍入魚堀

高雄市苓雅寮人楊拔百。年二十八。去十八日午後十時頃。在鹽埕町四丁目路上。突然有一怪盜。對楊之背後抱住。加以暴行。楊大驚。念身中有現款百餘圓。恐被所奪。乃大聲呼救。跑到鹽埕町派出所訴其顛末。池田中村兩巡查。周刑事等。急追盜後。至北野町魚堀之際。盜見無路可逃。即跳落堀中。池田中村兩巡查。亦隨後跳落。三人在水中。一場大格鬪後。遂將盜捕住。取調結果。判明入船町人顏發命。年三十八。非是强盜。乃被同町六丁目許大格賄囑。託他毆楊。目下繼續取調中云。

鈴木海軍武官 訪本社述謝

本社募集慰問袋一部分。贈呈于海軍。去十九日午前。鈴木海軍武官到本社。晤河村社長。述謝辭。更託爲傳謝于一般寄附者也。

瑞芳

舉傳達式

天皇。皇后兩陛下。爲救恤八月下旬本島暴風雨災民。下賜五千五百七十圓二十錢之中。其賜與該庄被災者。計三百三十四圓。去十二日午前十時。宮川庄長。集該受賜者舉傳達式。

庄長招宴

宮川瑞芳庄新庄長。去十八日午後二時頃。招待地方官民。及安詮院郡守。北島庶務課長。汶溪鍊出長。計百餘名。假瑞芳庄役場樓上。開新任披露宴。庄長致禮後。佐伯瑞芳郵局長代表一同謝辭。盡歡至傍晚散會。

北斗

青團講習

由北斗郡青年團聯合會。幹部講習會。去十五日起。三日間。開於員林郡社頭出清水岩山頂。團員三十餘名。自十五日朝。由郡山崎視學引率。請臺中州敎育課。岡江社會敎育主事臨講。受講及野宿。

會長易人

北斗郡埤頭庄路口厝。第二保々正兼協合會長張滿風氏。者番新任埤頭庄長。同時辭退前記之職。去十日。該保人民舉投票選。以孫多票之張明揚氏當選。氏該地有數資產家。年壯三十五。將來定多爲保民造福。一般頗期待之。又同日路口厝派出所內。七保々正再改選保長。亦獨張明揚氏當選云。

見學旅行

北斗郡二林青年團。爲觀察州下東勢郡大芳埤。及與農業團實地創作現況。去十六日。由該團長引率。團員三十餘名赴同地。實地見學。於東勢一泊越日歸林。

竹山

交通不便

既報。去十五日早。花瀏若所蒙之清水溪竹山線乘合車。由清水溪。駛至距竹山約十五町之竹圍仔口大崎中。因輪轉機突生故障。顛落于十丈餘之坎下。乘客五名。及運轉手。車掌等。僅皆負重輕傷而已。可謂不幸中之幸。然因清水溪以南之林內間線。乃係林內自動車會社經營。屬臺南州管內。故不能直通運人。臺中州界之清水溪竹山線。目下來往之人甚多。頗感不便。蓋林內竹山間雖有昭和之鐵橋。但乘自動車約三十分能到。若以輕便。須要一時三四十分故也。右據林內自動車會社決欲願一般乘客便利。暫時自林內駛至竹山。但當局尚在考慮中也。

撲滅野犬

竹山郡下一圓。訂自本月二十五日。至同月末。一週間內。欲施行野犬撲殺。及撲殺。爲飼生者須得飼犬。無掛頸環或標札。方免被其誤殺也。

佛敎祭典

竹山佛敎慈潤堂。月之十八日。乃逢釋迦佛。並觀世音菩薩誕辰。是朝自八時。舉行祝典。善男信女。集者百餘名。稱是盛況。入夕由堂主黃永坤氏。更向佛敎莫理講演。

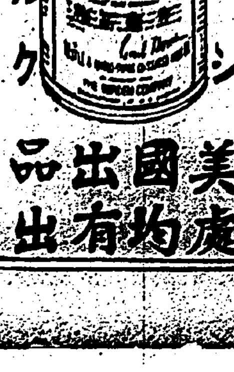
詩壇

退四八首(下) 陳沁園

依例秋期代及瓜。此身應免混官衙。應宗濁水初投石。整頓荒園看種花。閱世已深金鍛鍊。出山太久玉疵瑕。而游到處康莊闊。坎坷三輪自轉車。
無衣爽子話同袍。冷煖人情

潤菴漫評

自黨同伐異之風盛。而是非之論。莫能爲一。總以及似此醒醉世界。八者皆笑罵。甘抽身爲高。皆成文孫。極力怒罵。誠哉可爲而不可爲者。只端句是其勝人之處。非特善於解嘲。

漢文臺日案內
新設電話一九八六番開通
太平會事務所

鷹標牛乳
煉乳之王
美國出品
各處均有出售
莫購劣貨